

令和 7 年 度

事業 結果 報告 書

社会福祉法人松江市社会福祉協議会

I	はじめに	1
II	実施事業	
1.	社協運営及び機能強化	3
1-(1)	法人運営管理	3
	① 理事会	
	② 評議員会	
	③ 監査会	
	④ 正副会長会	
	⑤ 経営戦略会議	
	⑥ 事業推進会議	
	⑦ 中国・四国都市社会福祉協議会連絡協議会	
1-(2)	広報	7
	① 社協だより・刊行物等の発行	
	② ホームページ	
	③ 「しまねの社協がそこにある！～あなたに身近な島根の社協活動情報 発信サイト～」を通じた広報活動	
	④ 「メールニュース まつえ社協」の配信	
	⑤ Instagram（インスタグラム）公式アカウントの運用	
1-(3)	社協会費、募金等	9
	① 社協会費	
	② 日赤会費	
	③ 共同募金	
1-(4)	研修啓発、講座	12
	① 松江市社会福祉大会	
	② 健康福祉フェスティバル	
	③ 第76回松江市民余芸大会	
1-(5)	篤志寄付金配分事業の推進	13
1-(6)	こども応援プロジェクト助成事業の推進	14
1-(7)	共同募金配分事業の取り組み（松江市共同募金委員会）	14
2.	地域福祉及び連絡調整の強化	15
2-(1)	第6次地区地域福祉活動計画進捗支援	15
2-(2)	地域福祉の推進	15
	① コミュニティソーシャルワークの展開	
	② 地域福祉推進会議の開催	
	③ 地区社協・各種団体との連携	
	④ 地区社会福祉協議会活動支援事業（すこやかライフ推進事業）	
	⑤ 地区社協会長会、幹事会及び事務局連絡会議	
	⑥ 福祉推進員代表者会	
	⑦ 福祉推進員研修会	
	⑧ あったかスクラム事業の支援	
	⑨ 生活再建うちクリーニング事業	
	⑩ 新たなつながりプロジェクト	

2-(3) 広域福祉事業の推進	28
① 福祉サービス利用援助事業の推進	
② 法人後見事業	

3. ボランティア活動及び福祉教育 30

3-(1) コーディネート機能強化	30
3-(2) ボランティアの育成、養成	30
① 育成研修	
② 養成研修	
3-(3) ボランティアの活動支援	32
① ボランティアルームの開放、備品の貸し出し及び保険の加入促進	
② ボラカフェの開催	
③ おうち de ボランティアの実施	
④ 松江市ボランティア連絡協議会との連携、活動支援	
⑤ 企業ボランティア松江ネットワーク会議との連携、活動支援	
⑥ 松江市社会福祉法人連絡会との連携、活動支援	
⑦ 松江市建築組合青年部ボランティア活動の支援	
3-(4) ふくし教育の推進	35
3-(5) ボランティア活動の広報・啓発・広聴活動の強化	36
3-(6) 松江市まめなかポイント事業の実施	36

4. 在宅生活支援事業の推進 36

4-(1) 地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組み	36
① 地域包括支援センター事業の推進	
② 在宅医療・介護連携支援センター事業の推進	
③ 生活支援コーディネーター設置事業	
④ 認知症地域支援推進事業	
⑤ 介護者の支援	
4-(2) 各種貸付相談	48
① 生活福祉資金の貸付	
② 民生融金の貸付	
4-(3) 福祉サービス	49
① 福祉サービスの実施	

5. 公的福祉サービス受託事業の推進 50

5-(1) なごやか寄り合い事業	50
5-(2) 松江市くらし相談支援センターの運営	53
① 複合的な課題を抱えたケースに対する関係機関との連携強化	
② 生活困窮者支援に対する理解促進	
③ 就労に向けた支援の実施	
④ フードバンク事業	
⑤ 助っ人弁護士制度	
5-(3) 高齢者あんしんサポート事業	57
5-(4) 松江市権利擁護推進センターの運営	58

- ① 相談受付業務
- ② 利用促進業務
- ③ 後見人等支援業務
- ④ 広報・啓発業務
- ⑤ 地域連携ネットワークの構築

6. 介護保険関係事業の推進 65

6-(1) 松江社協介護センターの経営	65
① 訪問介護事業及び総合事業	
6-(2) 美保関介護センターの経営	66
① 居宅介護支援事業	
② 訪問介護事業及び総合事業	
6-(3) 松南介護センターの経営	67
① 居宅介護支援事業	
6-(4) 宍道介護センターの経営	68
① 居宅介護支援事業	
② 訪問介護事業及び総合事業	
6-(5) 介護センターの研修等の推進	69
① 介護支援専門員資質向上事業	
② 訪問介護員内部研修	
③ 居宅介護支援専門員内部研修	
④ 介護センター内部合同研修	
6-(6) 介護認定訪問調査事業の受託	70

7. 障害者総合支援法等障がい者関連事業の推進 71

7-(1) 障がい者居宅介護事業、同行援護事業及び移動支援事業	71
① 松江社協障がい者居宅介護事業及び同行援護事業	
② 美保関障がい者居宅介護事業及び同行援護事業	
③ 宍道障がい者居宅介護事業	

8. 児童福祉サービスの推進 73

8-(1) 児童センター等の受託運営	73
① 八雲児童センター運営事業	
② 八雲児童・子育て事業	
8-(2) 子ども食堂の取り組み	74

9. 福祉施設等管理運営事業の受託 75

9-(1) 松江市総合福祉センター管理運営事業	75
9-(2) 宍道屋内ゲートボール場管理運営事業	75

10. 「地域共生社会の実現に向けた」地域づくり推進 76

10-(1) 重層的支援体制整備事業	76
① 多機関協働事業	
② アウトリーチ等を通じた継続的支援事業	
③ 参加支援事業	

④ 地域づくりに向けた支援（すこやかライフ推進事業）

11. 災害支援	80
11-(1) 災害ボランティアセンター立上げ訓練	80
11-(2) 災害ボランティアセンター運営に関わる研修	82
組織・機構	
※職員数一覧表	83

I はじめに

令和8年1月6日（火）午前10時18分頃に、島根県東部を震源とする震度5強の地震が発生しました。市内の小学校はまだ冬休み期間であるためこどもしか家におらず、こうした中で激しい揺れがあり、恐怖と不安の中で過ごしたこどももいました。一方余震の恐れがある中で、近所の人に頼んでこどもを保護してもらったというケースもあり、あらためて地域生活の中で「つながり」ということの必要性が再認識されました。

令和8年3月の松江市の人口と世帯数は、191,403人と92,039世帯です。1世帯当たり平均約2人の計算になり、これは単身世帯の増加を表しているものと考えられます。（参考：令和2年国勢調査単身世帯数31,422世帯）そのほか個人の価値観や社会情勢の変化によって、家族や親族、さらに地域によって機能していた互助的支援が届かない人が増加しています。これは災害時の問題だけではなく、子育てや介護、生活困窮や社会的孤立、さらには虐待や自死といった深刻な事態にもつながる要因の一つであると考えられます。

こうした中で本会は、個別支援活動と地域づくりの活動を総合的に展開することを目指して、『市民一人ひとりの幸せづくりと地域づくりを応援する社協活動』を経営理念として活動をしてきました。

また、令和7年に松江市とともに策定をした「第6次松江市地域福祉計画・地域福祉活動計画」を強力に推進していくため、職員の行動計画である「第6次発展強化計画」を策定しました。そして、引き続き「頼りになる松江市社協」の実現に向け、しっかりと事業を推進してまいります。

令和7年度は、以下の事業を重点的に取り組みました。

1. 地域包括支援体制実現に向けた事業の推進

本会が設置する市内14か所の「ふくしなんでも相談所」や社会福祉法人連絡会、連携薬局による「ふくしなんでも相談」など、より住民に身近な拠点で相談を受け止め、課題解決に向けた支援を行いました。6つの地域包括エリアのコミュニティソーシャルワーカーと地域包括支援センター相談員（保健師、社会福祉士、ケアマネジャー）がチームとなって、地域の困りごとを住民とともに考え、具体的な実践を展開しました。

2. 重層的支援体制整備事業の推進

既存の制度の対象となりにくいケースや、いわゆる「8050」やひきこもりなど、個人・世帯が複数の生活上の課題を抱え、課題全体を捉えて支援していくことが必要なケースに対して、断らず、まずは受け止め、つながり続ける支援体

制を構築することをコンセプトに、「属性を問わない相談支援」「アウトリーチ支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」の4つの支援を一体的に実践しました。

3. 権利擁護のある地域づくりの実践

松江市権利擁護推進センターを中心に、地域包括支援センター、法テラス島根などの関係機関と連携し、権利擁護サポーター養成講座、出張相談会の開催など、権利擁護に関する理解促進を図りました。また、相談から受任調整、後見人支援までのサポートを強化し、権利擁護支援の一層の充実を図りました。

4. 地域福祉活動の推進

29地区の第6次地区地域福祉活動計画の進行管理を実施しました。また、「なごやか寄り合い事業」の開催支援、「こども食堂」運営支援、島根大学の学生による高齢者の見守り活動「フラワー見守り隊」の立ち上げなど、地域のつながりを再構築すべくソーシャルワークの手法を生かしながら実践しました。

5. 人生の最終段階での支援の充実

NPO 法人抱樸奥田知志氏を講師として、身寄りのない人への支援研修会を開催しました。松江市在宅医療介護連携支援センターでは、在宅看取りとACP（アドバンス・ケア・プランニング）をテーマとした動画を作成し、DVD 貸し出しや、Youtube への掲載をしました。また「ACP 相談支援介入プログラム」を開発し、保健師による ACP 相談支援について地域住民の周知と実施を行いました。

6. 生活困窮者等への継続的支援

新型コロナ特例貸付の滞納者に対する訪問を行い、生活状況の把握と専門機関へのつながりなどの支援を行いました。また訪問でつながることができない世帯に対して生活相談会を実施し、返済金額の再調整や関係機関へのつながを行いました。

またくらし相談支援センターにおいては、インスタグラムや公式 LINE などを活用した情報提供を行いました。様々な困難を抱えた方に対し、孤立することがないように関係機関と連携して「寄り添う」伴走型支援を実践しました。

7. 災害時の対応強化

公民館、ライオンズクラブ、社会福祉法人とともに、Kintone を活用した災害ボランティアセンター立ち上げ訓練を実施しました。また社会福祉協議会の災害発生時の初動対応として「職員の参集基準」を整備し、職員への周知徹底並びにテストメール配信訓練を行いました。

Ⅱ 実施事業

1. 社協運営及び機能強化

1-(1) 法人運営管理

【総務課】

社会福祉法人制度に沿った役員、評議員体制を構築し、法人の健全経営や、地域福祉の担い手としてふさわしい事業を確実、かつ効果的に行うために、理事会、評議員会を開催し、社協法人の意思決定を行いました。

①理事会

事業名等	内 容	質疑・意見等
第 1 回	●日 時 令和 7 年 5 月 30 日（金）10:00～ 会 場 松江市総合福祉センター 4 階 教養室 出席者 総数 18 名中 14 名 監事 2 名 【議案】 ・定款の変更について ・事務局に関する規定の一部改正について ・経理規程の一部改正について ・美保関介護センター障害者総合支援法移動支援事業運営規程の制定について ・令和 6 年度事業結果報告について ・令和 6 年度会計収支決算について ・ホームページリニューアル業務委託契約の締結について ・評議員の推薦について ・役員の推薦について ・令和 7 年度第 1 回評議員会の開催について <u>以上原案どおり可決</u>	・経営戦略会議、事業推進会議の詳細について。 ・若年性認知症の連絡会について。 ・修学等子どもに対する貸付事業の状況について。 ・各地区の新しい活動の状況共有について。 ・ホームページのリニューアルの内容詳細について。
第 2 回	●日 時 令和 7 年 6 月 19 日（木）16:00～ 会 場 松江市総合福祉センター 4 階大ホール 出席者 総数 18 名中 14 名 監事 2 名 【議案】 ・会長及び副会長の選任について ・専務理事及び常務理事の選任について ・介護予防給付管理システム導入に伴う契約について <u>以上原案どおり可決</u>	

事業名等	内 容	質疑・意見等
第 3 回	●日 時 令和 7 年 12 月 12 日（金）10:00～ 会 場 松江市総合福祉センター 4 階 教養室 出席者 理事総数 18 名中 13 名 監事出席なし 【議案】 ・職員の給与に関する規程の一部改正について ・報酬費用弁償支給規程の一部改正について ・旅費支給規程の一部改正について ・各地域包括支援センター介護予防ケアマネジメント事業運営規程の一部改正について ・令和 7 年度会計補正予算（第 1 号）について ・自動車保険フリート契約（任意保険）の締結について ・令和 7 年度第 2 回評議員会の開催について <u>以上原案どおり可決</u> 【報告等】 ・各介護センターの事業の状況について ・事業の実施状況について（各地域福祉ステーション事業を中心に CSW より報告）	・出張時の宿泊手配、金額、精算方法について。 ・地域包括支援センターにおける緊急時の 24 時間電話対応について。 ・補正予算における人件費の減額について。 ・補正予算における介護予防支援事業の収支差異の理由等。
第 4 回	●日 時 令和 8 年 3 月 23 日（月）10:00～ 会 場 松江市総合福祉センター 4 階 教養室 出席者 総数 18 名中 16 名 監事 2 名 【議案】 ・職員の給与に関する規程の一部改正について ・美保関介護センター居宅介護支援事業の廃止及び関連運営規程の廃止について ・松江社協介護センター訪問介護等事業の廃止及び関連運営規程の廃止について ・美保関介護センター訪問介護事業等関連運営規程の一部改正について ・美保関介護センター障害者総合支援法居宅介護及び同行援護事業 運営規程の一部改正について ・令和 7 年度会計補正予算（第 2 号）について ・令和 8 年度事業計画について ・令和 8 年度会計予算について	・香梅の里の今後の活用状況について。 ・身寄りがなく、経済的に困難を抱える人への日常的な金銭管理、入院入所手続き、死後事務等の支援を行う新たな事業の詳細について。 ・コグニサイズの全市的展開について。

事業名等	内 容	質疑・意見等
	・総合福祉センター清掃業務契約の締結について ・総合福祉センターエレベーター保守点検業務契約の締結について ・令和 7 年度第 3 回評議員会の開催について ・役員の選任について <u>以上原案どおり可決</u>	

②評議員会

事業名等	内 容	質疑・意見等
第 1 回	●日 時 令和 7 年 6 月 19 日（木）10:00～ - 会 場 松江市総合福祉センター4 階 教養室 - 出席者 総数 23 名中 21 名 監事 1 名 【議案】 ・定款の変更について ・令和 6 年度事業結果報告について ・令和 6 年度会計収支決算について <u>以上原案どおり可決</u>	・民生児童委員への生活保護者の情報提供について。 ・災害ボランティア立上げ訓練の参加対象者について。 ・決算額の予算比表示方法について。
第 2 回	●日 時 令和 7 年 12 月 18 日（木）10:00～ - 会 場 松江市総合福祉センター4 階 教養室 - 出席者 総数 24 名中 19 名 監事 1 名 【議案】 ・報酬費用弁償支給規程の一部改正について ・令和 7 年度会計補正予算（第 1 号）について <u>以上原案どおり可決</u> 【報告等】 ・各介護センターの事業の状況について ・事業の実施状況について（各地域福祉ステーション事業を中心に CSW より報告）	・法人全体として、事業規模に対する人員が充足しているか、適正な人数であるかについて。 ・高齢者安心サポート事業のここ数年の契約件数について。 ・本会事業に限らず介護保険事業の現状について、制度、国への要望、予防など多数の意見、質問あり。

事業名等	内 容	質疑・意見等
第 3 回	●日 時 令和 8 年 3 月 27 日（金）10:00～ - 会 場 松江市総合福祉センター4 階 教養室 - 出席者 総数 24 名中 15 名 監事 2 名 【議案】 ・ 令和 7 年度会計補正予算（第 2 号）について ・ 令和 8 年度事業計画について ・ 令和 8 年度会計予算について ・ 役員の選任について <u>以上原案どおり可決</u> 【報告等】 ・ 松江社協介護センター訪問介護等事業の廃止・統合、美保閑居宅介護支援事業の廃止について（補正予算第 2 号の中で報告）	・ 補正予算において退職金支給関係の予算計上時期、売却車両の内容について。 ・ 事業計画において救命救急講習について、心理的安全性の意味について。 ・ 予算において赤字予算、介護人材確保、社協会費募集地区社協助成金、会費を納めてもらえる地域組織づくり、人件費率など多数の意見、質問あり。

③監査会

理事の業務執行の状況および法人の財産の状況について、監事による監査を実施しました。

事業名等	内 容	質疑・意見等
監査会	●日 時 令和 7 年 5 月 22 日（水）9:00～ - 場 所 松江市総合福祉センター 会議室 - 内 容 令和 6 年度 事業報告、会計収支決算監査	・ 事業報告書、財務諸表正確であり不正の点なし

④正副会長会

事業名等	内 容
第 1 回	●日 時 令和 7 年 5 月 26 日（月）11：00～ - 会 場 松江市総合福祉センター 会議室 - 出席者 副会長 2 名、専務理事、常務理事 ・ 第 1 回理事会議案・第 1 回評議員会議案等について
第 2 回	●日 時 令和 7 年 12 月 4 日（木）11：00～ - 会 場 松江市総合福祉センター 会議室 - 出席者 副会長 2 名、専務理事、常務理事 ・ 第 3 回理事会議案・第 2 回評議員会議案等について

事業名等	内 容
第 3 回	●日 時 令和 8 年 3 月 17 日（火） 11：15～ - 会 場 松江市総合福祉センター 会議室 - 出席者 会長、副会長 2 名、専務理事、常務理事 ・第 4 回理事会・第 3 回評議員会議案等について

⑤経営戦略会議

管理職において、毎月第 1 水曜日に事業経営管理（マネジメント）及び各課事業の着実な執行、運営管理のための方針や事業展開について検討しました。

⑥事業推進会議

専務理事、事務局長、各課の課長、係長が参加し、毎月第 4 水曜日に各課が年度当初にあげた重点事業について、事務局長や他課からの意見を伺いながらその進捗管理を行い、社協全体で情報を共有しました。

事業名等	回数	内 容
事業推進会議	12 回	重点事業進捗管理と情報の共有

⑦中国・四国都市社会福祉協議会連絡協議会

中国及び四国地域の市社会福祉協議会（現在岡山県、山口県、島根県、徳島県、高知県）で構成し、情報発信や提言・提案活動通じて、地域福祉の本格的な推進と社協組織の基盤強化を目的とし設置しています。しかしながら令和 7 年度末山口県内全市、令和 8 年度末に徳島県全市がそれぞれ脱退する意向が示されたことから、運営委員会（事務局：徳島市社会福祉協議会）において、令和 8 年度末をもって解散する方向で検討が進められました。

1-(2) 広報

【総務課】

①社協だより・刊行物等の発行

「まつえ社協だより」を年 6 回公民館・自治会町内会を通じて各世帯に配布し、福祉情報の提供を行うとともに、社協活動への理解と協力を求めました。また視覚障がい者の方に向けても、よりわかりやすい情報提供ができるよう音訳及び点訳版を発行しました。

年 6 回発行（5 月・7 月・9 月・11 月・1 月・3 月）A4 版 白黒 6 ページ

巻数	発行月	発行部数	表紙の内容
第 157 号	令和 7 年 5 月	1 号につき	包括支援センター紹介
第 158 号	令和 7 年 7 月	76,000 部	福祉推進員 活動紹介

第 159 号	令和 7 年 9 月	(音訳)	赤い羽根共同募金運動 10 月 1 日スタート
第 160 号	令和 8 年 11 月	140 部	サマーチャレンジボランティア 開催報告
第 161 号	令和 8 年 1 月	(点訳)	松江市社協から新年のご挨拶
第 162 号	令和 8 年 3 月	70 部	松江市民余芸大会 開催報告

②ホームページ

ホームページによって、社協の組織、事業、イベント、地区社協の活動など様々な情報をタイムリーに発信するように努めました。また、令和 7 年度は広報委員が中心になってホームページをリニューアルし、誰もが利用しやすく、必要な情報にたどり着きやすいよう、アクセシビリティの向上を図るとともに、タイムリーに情報を更新できるようシステム改修を行いました。

区 分	内 容
アクセシビリティ	●トップページにカテゴリー分類を追加し、閲覧者が求める情報にたどり着きやすい導線確保しました。 ●ホームページ全体構成、掲載項目の整理・修正。 ●レイアウト・アイコン等の配置、配色を工夫し、視覚障がいのある方にも読みやすくしました。 ●画像に内容が伝わる“代替テキスト”を設定し、音声読み上げソフトへの対応を強化しました。
更新システム	●職員がウェブページを修正することができるシステムを導入し、最新の情報をよりタイムリーに更新できるようにしました。 ●記事・ページ公開前の“アクセシビリティチェック”機能を導入しました。

※アクセス数等の比較についてはリニューアルに伴う移行作業及びカウント方法の変更の影響で正確な数値が把握できないため、次年度より改めて記載。

③「しまねの社協がそこにある！～あなたに身近な島根の社協活動情報発信サイト～」を通じた広報活動

社会福祉協議会の役割や活動をPRするため、島根県内のすべての社協（県社協、19 市町村社協）合同の情報発信サイト「しまねの社協がそこにある！」において、地域福祉の推進役を担う「社協」の存在をより多くの方々に知っていただくことを目的に、本会も下記の記事を提供し、掲載されました。

掲載提供月	記事内容
令和 7 年 5 月	職場体験やっています！
令和 7 年 5 月	『ようこそござっしやい ☆ふらっと☆』
令和 7 年 6 月	和気あいあい！「つだんだん会」開催です
令和 7 年 8 月	出張乃木小学校車いす体験

掲載提供月	記事内容
令和 7 年 9 月	サマチャレ 2025 ― 出会いと学びの夏休み
令和 7 年 10 月	集まった！ ― 社協若手職員交流会
令和 7 年 11 月	もしバナゲームで人生会議に取り組もう！
令和 8 年 1 月	いざというときに動ける準備を ～kintone を使った災害ボランティアセンター立ち上げ訓練～
令和 8 年 2 月	e スポーツ交流会
令和 8 年 3 月	令和 7 年度 成年後見制度利用促進セミナーについて

④「メールニュース まつえ社協」の配信

本会が行っている取り組みや情報などをタイムリーに周知するため、メールニュースの配信に取り組みました。配信先は各地区社会福祉協議会(公民館)、行政、関係機関、他市町村社協等です。

○配信回数：12 回（毎月 1 回）（令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月）

⑤Instagram（インスタグラム）公式アカウントの運用

幅広い世代に向けて本会の存在と活動を PR するため、写真や動画をメインに投稿する SNS の一つ Instagram（インスタグラム）にて、公式アカウントを令和 6 年 3 月より運用しています。運用が軌道に乗り、令和 7 年度はフォロワー数も着実に増加しました。

（フォロワー数は年度末累計）

項 目	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度
フォロワー数	346 人	184 人	—
投稿数	148 件	166 件	3

1-(3) 社協会費、募金等

【総務課】

①社協会費

市内町内会自治会等にご協力をいただきながら社協会員を募集し会費を納入していただきました。

◆令和 7 年度 社協会費

（単位：円）

区 分	件 数	金 額	R6年度実績
一般会費	784自治会	21,482,316	22,726,651
特別会費	95件	212,000	73,000
団体会費	63件	247,000	276,000
法人会費	111件	610,000	595,000

計		22,551,316	23,670,651
---	--	------------	------------

※一般会費とは1世帯当たり800円 ※特別会費とは個人で一口2,000円以上

※団体会費とは福祉施設対象で一口3,000円以上

※法人会費とは企業対象で一口5,000円以上

②日赤会費

5月の赤十字運動月間を中心に、市内町内会自治会等のご協力により、会員への加入と会費のお願いをしました。日本赤十字社島根県支部松江市地区長 上定昭仁(市長)

◆令和7年度 日赤会費

(単位：円)

区 分	件 数	金 額	R6 年度実績
普通会費	782 自治会	17,242,637	18,400,395
特別会費	25 件	105,000	93,000
法人会費	98 件	686,000	691,000
計		18,033,637	19,184,395

※普通会費とは1世帯当たり700円以上

※特別会費とは個人1回2,000円以上で積立20,000円以上 ※法人会費とは企業対象

③共同募金

多くの市民や関係団体の協力得て、令和7年10月1日から12月31日（テーマ募金は令和8年1月1日から3月31日）まで、共同運動を展開しました。

令和7年度も街頭募金をはじめとし、戸別募金、法人募金など例年実施している取り組みを期間を通じて行いました。

物価高騰、協力自治会の減少など様々な理由により募金総額は前年度に比べ減額となりました。街頭募金については、前年度に比べ活動場所を増やしたこともあり増額となっています。

◆令和7年度共同募金

(単位：円)

区 分	件 数	金 額	R6 年度実績
戸別募金	738 自治会	17,613,375	18,695,640
街頭募金等	69 カ所	655,646	451,349
法人募金	285 件	1,480,890	1,553,000
学校募金	34 校	505,603	641,953
職域募金	43 件	690,642	760,040
イベント募金	19 件	1,110,908	1,260,506
物品募金	106 件	767,133	944,055
個人募金・その他募金	137 件	1,030,517	815,223
テーマ募金	48 件	1,391,083	696,386

区 分	件 数	金 額	R6 年度実績
計		25,245,797	25,818,152

◆募金活動

募金種別	内 容
戸別募金	①各地区自治会・町内会連合会長を通して、各地区世帯へ依頼。 ②随時、各公民館区で協力依頼を実施。
街頭募金等	①10月1日一斉街頭募金 参加者 207 名 ②常設募金箱 ・由志園 ・カフェ太郎 ・島根県物産観光館 ・宍道健康センター ・ストリーム ・(有)松江クロード ・From40、CafeBrownie ・カナツ技建工業(株) ・社会保険労務士法人村松事務所 ③ 運動期間中設置場所 ・各公民館 ・宍道健康センター ・(有) 白銀屋 (アイパルテ)
法人募金	①企業等へダイレクトメール ②事務局による訪問及び協力依頼 ③地区社協選出の募金ボランティアによる訪問及び協力依頼
学校募金	①市内小中学校にドラえもん募金箱等を配布し協力依頼 贈呈式の実施 12 校
職域募金	①募金協力依頼 市関係機関、民児協、学校教職員、企業、福祉団体等訪問依頼
イベント募金	①公民館文化祭等行事 ②各種団体開催イベント ③松江市民余芸大会
物品募金	①県共募製作のピン・缶バッジ、エコバッグ等のグッズについて公民館、事務局等を窓口とし募金を呼びかける 他、職域募金にあわせ市関係機関、学校教職員、企業、福祉団体等訪問依頼 ②ガチャガチャ (ピン・缶バッジ) の常設設置 ・松江歴史館 ・玉造温泉ゆ〜ゆ ・堀川遊覧船事務所 ・松江フォーゲルパーク ・松江クロード ・カラコロ工房 (フォーゲルパーク、クロードについてはオリジナルバッジを作成)
個人募金・ その他募金	①募金百貨店プロジェクト 7 企業 ・新規参加企業→御津フィッシャーマンズファクトリー ②赤い羽根自動販売機 9 カ所 ③個人等その他
テーマ募金	①団体名：フードバンクしまね あったか元気便 事業名：フードバンク宅配事業

募金種別	内 容
	(子育て支援及び児童健全育成に関する活動)

◆社協会費、日赤会費、共同募金の推移 (単位：円)

区 分	R7年度	R6年度	R5年度	R4年度	R3年度
社協会費	22,551,316	23,670,651	24,805,769	25,334,942	26,572,634
日赤会費	18,033,637	19,184,395	19,988,950	21,121,830	21,362,220
共同募金	25,245,797	25,818,152	27,636,187	25,884,800	26,784,806
計	65,830,750	68,673,198	72,430,906	72,341,572	74,719,660

1-(4) 研修啓発・講座

【総務課】

①松江市社会福祉大会

事業名等	内 容
松江市社会福祉大会	●日 時 令和7年11月19日(水) 13:30～15:45 会 場 島根県民会館 中ホール 内 容 【表彰式典】(会長表彰及び感謝状贈呈) ・民生委員・児童委員功労 67名 ・福祉推進委員功労者表彰 40名 ・社会福祉施設及び団体役員功労者表彰 16名 ・社会福祉施設及び団体職員功労者表彰 41名 ・社会福祉施設及び団体優良活動表彰 1団体 ・松江市社会福祉協議会長感謝(個人) 13名 【記念講演】 『「生きる意味」の豊かさ求めて ～支え合いから人生の輝きへ～』 講師 東海学園大学特命副学長・卓越教授 東京科学大学特命教授 上田 紀行 氏 参加者 350名

②健康福祉フェスティバル

【地域福祉課】

市民だれもが健やかに生きがいをもって社会参加できるよう、健康づくり、福祉やボランティアについて、幅広い世代に向けて意識啓発を行うことを目的に「2025 健康福祉フェスティバル」を開催しました。

事業名等	内容
2025 松江市健康福祉 フェスティバル	●日時 令和7年6月15日（日）9:30～14:30 会場 松江市総合体育館 内容 各種コーナー ・販売コーナー ・活動、展示コーナー ・健康、体験コーナー ・相談コーナー ・ステージイベント 出展団体 50 団体 延べ入場者数 約 2,000 人 ※「ボランティアフェスティバル」との合同開催、「子どものためのスポーツ見本市」「レクリエーション・スポーツフェスティバル」との同時開催

③第 77 回 新松江市合併 20 周年記念 松江市民余芸大会

【地域福祉課】

公募による出演者と多くの市民の皆様にご協力いただき、松江市・山陰中央新報社との3団体共催により開催しました。

この事業の収益金は、松江市共同募金委員会へ全額寄付しました。

事業名等	内 容
第 77 回松江市民 余芸大会	●日 時 令和7年12月20日（土）13:00～16:00 会 場 島根県民会館 大ホール 出演団体 16 団体 来場者数 約 1,100 人 チケット代 1 枚 1,800 円(当日券 2,000 円) 収益金 979,197 円

1-(5) 篤志寄付金配分事業の推進

【総務課】

篤志寄付金は、市民の皆様からの香典返しを中心とした寄付金をお預かりし、社会福祉事業を行う地区社協や福祉団体・ボランティア団体、松江市社会福祉協議会の事業に配分し、地域福祉の推進に役立てられました。

葬儀の規模・形態が変化していること等から香典返し寄付金が減少傾向にありますが、ホームページ、社協だよりへの記事の掲載、中央郵便局でのデジタルサイネージによる動画配信の他、

市内葬儀社を訪問し、説明チラシの配布等の広報活動を継続的に行いました。

(収入)

単位：円

区 分	R 7 年度		R 6 年度	
寄付金収入	750 件	20,191,500 円	829 件	21,086,376 円

(支出)

区 分	R 7 年度		R 6 年度	
福祉団体助成金	43 件	3,596,275 円	43 件	3,626,879 円
地区配分金	29 件	10,095,750 円	29 件	10,543,188 円
地域援助費	45 件	3,615,979 円	52 件	3,951,827 円
助成金支出	3 件	60,000 円	6 件	110,000 円
社協事業費支出	1 件	2,000,000 円	1 件	1,000,000 円
事務費支出		997,512 円		1,062,734 円

1-(6) こども応援プロジェクト助成事業の推進

【総務課】

近年、こども食堂をはじめとしたこどもの居場所づくりに関心が高まり、個人や団体からのこども向け事業へ活用を希望する大口寄付が増加しました。寄付者の意向に沿った活用をするため、令和 5 年度に「こども応援プロジェクト」助成事業を立ち上げ松江市内のこども向け事業を営む団体へ助成し、地域のこどもの未来を応援する機運の高まりを推進しました。

(収入)

区 分	R7 年度		R6 年度	
寄付金収入	18 件	1,829,620 円	13 件	2,192,700 円

(支出)

区 分	R7 年度		R6 年度	
助成金	21 件	930,000 円	16 件	710,000 円

1-(7) 共同募金配分事業の取り組み（松江市共同募金委員会）

【総務課】

NPO 法人、ボランティア団体等の活動支援（地域福祉活動推進事業）を目的に配分金について公募し、審査を行いました。【令和 7 年度募金（令和 8 年度事業）】

◆地域福祉活動推進事業（公募配分）

決定総額 502,900 円

	申請団体名	事業名
1	松江市民生児童委員協議会連合会	松江市民生委員協力員制度事業

	申請団体名	事業名
2	特定非営利活動法人 福祉ネットだんだんネ	松江市内の障がい者就労支援事業所に関する 情報発信事業
3	だんだんパソコン倶楽部	子どもの学習ひろば作り

2. 地域福祉及び連絡調整の強化

2-(1) 第6次地区地域福祉活動計画進捗支援

【地域福祉課】

松江市内の29地区では、第6次地区地域福祉活動計画（令和6年～10年）が策定されています。この策定された第6次地区地域福祉活動計画に基づき、それぞれの地域における地域課題解決に向けて取り組んでいます。コミュニティソーシャルワーカーとして各地区の事業進捗状況の把握や、地区社会福祉協議会や地域住民の活動に対する伴走支援を行いました。

2-(2) 地域福祉の推進

【地域福祉課】

①コミュニティソーシャルワークの展開

令和元年度からコミュニティソーシャルワーカー(CSW)を各包括支援センターと同じ事務所に配置することで、より住民の身近な場所で相談を受ける体制をつくりました。特に専門窓口の制度やサービスにつながるまでの支援、地域の民生児童委員等との連携が必要なケースにおいては、実態把握のための訪問や連絡調整などの役割を果たしました。また、地域で必要な社会資源の開発（移送支援、買い物支援、居場所づくりなど）を行いました。

◆CSWにおける個別ケースへの支援状況（6エリア合計）

支援内容	実績
個別支援ケース実数	115人
個別支援ケース延べ対応数	361回
関係機関や関係者に対して行った働きかけ	204件

◆CSWにおける地域での新たな取り組み

○中央地域包括支援センターエリア

【県営大輪団地見守り体制づくり～幸福の黄色いマグネット～】（城北地区）

県営大輪団地は令和元年に竣工された10階建ての県営住宅です。現在79世帯が入居していますが、うち35世帯程度が独居高齢者であり、今後75歳以上が急増することが見込まれています。実際に中央地域包括支援センターにも認知症が進行したり、自宅で独り倒れたまま気づかれなかったりと問題が深刻になってから相談につながるケースが相次ぎました。

CSWは自治会・団地内民生委員と協働し、毎月1回住民座談会を開催しました。住民座談会

を通して住民と CSW は互いに顔の見える関係となり、住民側は心配な世帯を CSW にすぐに相談できるようになりました。

また、座談会で住民から出たアイデアをもとに玄関にマグネットを着脱することで安否確認を行う「幸福の黄色いマグネット」の取り組みを開始することができました。実際にこの取り組みにより、住民のお一人が急病で自宅での生活に支障が出た際、近隣住民が早期に発見し CSW への相談につながりました。

現在この住民座談会に、隣接する児童クラブとデイサービスの両法人職員にも加わっていただき、見守りや住民交流についてさらにアイデアを出し合っています。

【城東すくすく食堂の立ち上げ】（城東地区）

令和 7 年 8 月に城東公民館を会場に「食」を通じて地域の誰もが集うことのできる「城東すくすく食堂」が立ち上がりました。発起人である城東地区社会福祉協議会の会長から相談を受けた CSW は、立ち上げの半年前から助成金申請や他地区のこども食堂への見学同行などの後方支援を行いました。徐々に仲間が増えてゆき、共通の目的に向かって一丸となって取り組みを進める過程は非常に有意義でした。

立ち上げから半年も経たないうちに参加者は増加し、多い時には 100 名以上も参加する一大事業となりました。参加者のなかにはこれまで公民館活動に参加したことなかった層もあり、またボランティアには学生も多く参加するなど、地域に新たな風を吹かせる活動となっています。

○松北地域包括支援センターエリア

【みんなで考えよう ひきこもり研修会・交流会】（松北エリア全体）

ひきこもりへの理解を深め、地域内での横のつながりをつくることを目的として、令和 7 年 9 月 2 日に鹿島公民館で研修会と交流会を開催しました。当日は、当事者による実体験の発表や居場所づくりの取り組み紹介、松江市家庭相談課からの情報提供、松江市社協による「ふらっと」の紹介、登壇者同士のフリートーク、さらに記述式による質疑応答などを行いました。当事者・ご家族・地域住民・関係機関など、約 50 名が参加し、休憩時間の交流や研修後の個別の情報交換を通して、参加者同士のつながりを感じられる場となりました。今後も関係機関と意見交換を行いながら、研修会・交流会の開催について検討していきます。

【配食サービスの見える化 ～そこからひろがる地域の宝物再発見～】（松北エリア全体）

「やわらか食に対応し、配達してくれる配食サービス業者を知りませんか？対応できるところがなくて困っています。」このようなケアマネジャーからの相談が、今回の取り組みのきっかけでした。松北エリアの中でも特に中山間地と呼ばれる地域では、地理的条件により生活支援が行き届きにくい状況があることが分かりました。そこで、市内の配食業者や松北エリア内の居宅ケアマネジャー、福祉関係事業所に対してヒアリングやアンケートを行い、配食サービスの「見える化」を進めることにしました。大野・秋鹿地区については、町内の飲食店にもヒアリングを

実施しました。まとめた冊子は、松北エリア内の公民館、民生児童委員、福祉関係者などに配布し、周知を図りました。

活動を進める中で、地域住民同士の助け合いによる配食や、個人で配達を行っている方の存在など、地域の日常生活を支える「地域の宝物」ともいえる取り組みがあることを再認識しました。秋鹿・古江地区では研修会を開催し、今回の配食サービスの取り組み紹介に加え、身近な「地域の宝物」についてワークショップ形式で情報交換を行いました。令和8年度も、他の地区において同様の研修会を開催していきたいと考えています。

○松東地域包括支援センターエリア

【島根大学学生との協働による見守り体制づくり～フラワー見守り隊、始動～】(川津地区)

川津地区の独居高齢者をはじめ、身寄りのない方・認知症等により見守りが必要な方に関する相談が増加しています。また、川津地区、持田地区では、「見守りネットワーク事業」の登録者数が多く、独居の認知症高齢者が帰宅困難となるケースの対応も増加しています。そこで、島根大学学生と地域が協働してできる取り組みとして、島根大学の学生に協力いただき、学生が独居高齢者宅へ花の苗の鉢植えを届け、その後も定期的に訪問し一緒に花を育て交流しながら、日常的な見守り活動を行う活動を考えました。活動名を「フラワー見守り隊」とし、取り組みを実施するにあたっては、島根大学人間科学部福祉社会コースの1～3年生を対象にボランティア募集を行いました。さらに大学の授業の中で「学生ボランティア募集の方法・工夫」「この取り組みを継続させるための工夫」等を話し合ってもらい企画に反映しました。このような取組の結果、14名の学生ボランティアが集まりました。

川津地区の独居等高齢者世帯を対象に1世帯2～3人のチームで月数回の頻度で訪問しています。訪問当初は大学生も緊張の面持ちでしたが、訪問を重ねる中で徐々に担当の高齢者の方との関係ができ、世間話を楽しんだり編み物をするなど交流の幅が広がりました。高齢者の方々からは「若い子と話すとは返る」「一人ではできないと思っていたことが学生さんから元気をもらってやる気が出た」などの喜びの声をいただき、高齢者の生きがいがづくり・介護予防につながっていることを実感しました。学生ボランティアのみなさんからは「この活動が終わるのは寂しい」「今後が続けたい」という声もいただいています。令和8年度以降は島根大学だけでなく、他の教育機関、学校とも協働しながら対象地区を広げ、このフラワー見守り隊の取り組みを継続していきたいと思います。

【有償ボランティア「もちだ草刈り隊」立ち上げ支援】(持田地区)

第6次持田地区地域福祉活動計画を策定する際、60歳以上の独居世帯および60歳以上のみの世帯を対象とした「生活支援アンケート」を実施し、その中で約20%の方が草刈りで困っていることがわかりました。そこで、高齢等で自分では草刈りが困難な世帯を対象に草刈りを行う有償ボランティア組織「もちだ草刈り隊」が立ち上がることとなりました。令和8年度の活動ス

タートに向け、他地域の活動事例も参考にしながら運営体制の具体案を検討し「地域助け合い基金」の助成金申請も併せて行いました。

○湖南地域包括支援センターエリア

【宍道高校生によるスマホ相談会】(宍道地区)

令和 6 年 10 月 1 日より宍道地区において、予約型の乗り合いバスサービス AI デマンドバス「まつえのるーと」の試験運行が開始されました。宍道エリア内に乗降場所が 274 カ所（道路対面含む）あり、専用アプリを使用し、乗車場所、降車場所、日時、人数を入力し予約をします。地区座談会や医療・福祉関係者会議の中から「スマホでの予約ができない高齢者があり、活用ができない、しにくい」との声が多数ありました。

宍道地区社協との合同企画として、ソフトバンク株式会社によるスマホ相談会を活用した相談会を行いました。この相談会は高校生が講師役となりスマホの使い方を高齢者に 1 対 1 で教える形式で行い、高齢者がスマホの使い方や AI デマンドバスの予約ができるようになるると同時に、高校生のふくし教育の場として世代間交流になることを目的としました。当日は、松江市交通政策課から「まつえのるーと」の LINE の使い方の説明をしていただき、ソフトバンク株式会社には高校生のアドバイザーとしてご協力をいただきました。終始なごやかに実施することができ、参加者からは「楽しかった」「予約の仕方がわかりよかった」「地域への愛着が深まった」などの声をいただきました。今後は、詐欺や防災などの共通テーマで取り組みができると思います。

○松南第 1 地域包括支援センターエリア

【男性介護者交流会】(松南第 1 エリア)

松南第一 ST で地域生活課題を検討している際、男性が介護の悩みを話す機会がなく一人で抱え込んでいるケースがありました。その中には虐待にも発展したケースもありました。また、男性介護者が増えてきていますがそのような人たちが交流できる場がエリア内に無く、松江市総合福祉センターで行っている交流会には移動手段の課題もあり参加できない方もおられました。

そこで、あおぞら介護センターに協力をいただき同センター内会議室にて令和 7 年 12 月に第 1 回目の交流会を実施しました。対象者を松南第一エリア内の男性介護者とし、松南第 1 ステーションやあおぞら介護センターのご利用者様へ案内をしました。内容は基本的に茶話会で、同じ状況や悩みのある方、経験者の方同士での交流を目的としています。また、あおぞら介護センター系列の事業所より専門職に来ていただいて、役割の説明をいただく等、茶話会以外の内容も実施しました。

初回は 5 名、令和 8 年に行った第 2 回では 6 名の参加があり、『参加してよかった』という声が多く聞かれました。また、『介護をしている方の話を聞けたのは心が緩やかになった』との声もありました。

令和 8 年度も 3 か月に 1 回のペースで開催を予定しています。

○松南第 2 地域包括支援センターエリア

【あしたカフェ プレ開催】(東出雲地区)

東出雲地区にお住まいの方からの相談で「認知症になっても、安心して気軽に行けるところが身近にないですか？」とたて続けに問い合わせがありました。これを地域の課題として捉え、東出雲地区内に新たな居場所の開設を目指すことにしました。

以前、町内でオレンジカフェを開設されていた東寿苑に事業趣旨を説明したところ、協力頂けることとなり協働開催という形で実施しました。令和 7 年度はプレ開催し令和 8 年度に定期的に行っていくことになりました。

○令和 7 年 12 月 10 日 (水) 10 : 00 ~ 11 : 30

参加者 11 名 + (スタッフ : 社協 6 名、東寿苑 3 名 (CM2 名)、) 合計 20 名

参加者には認知症の方、知的障がいの方、身寄りのない方が参加された。また、カフェの一部にふくしなんでも相談コーナーを設け、認知症の夫を介護されている奥様の相談を受け、デイサービス利用に繋がりました。

○令和 8 年 2 月 25 日 (水) 10 : 00 ~ 11 : 30

参加者 : 7 名 + (スタッフ : 社協 6 名、東寿苑 2 名 (CM2 名)、作業所らぶ 5 名、わこう 2 名)
合計 22 名。

今回より就労支援事業所「わこう苑」「らぶ」に参加頂き物販を行いました。パン、野菜、クッキー、焼き芋を販売し、参加者にも喜んで頂きました。作業所と施設の繋がりも新たに出来、今後の活動に広がりが出来ました。

②地域福祉推進会議の開催

令和 7 年度においては、3 か月ごとに地域福祉推進会議を開催しました。ここではグループリーダーと CSW から地域づくりやまちづくりの進捗状況を報告、ステーションで企画した地域での活動の進捗管理を通し、地域課題や進め方について社協内で横断的に協議・情報交換等を行っています。

③地区社協・各種団体との連携

福祉推進員や民生児童委員との連携を図り、研修会や勉強会を開催しました。

ア) 地区研修会 (地区社協と協力して実施)

「見守りについて」「なごやか寄り合い事業立ち上げについて」等、各地区で研修会を開催しました。

イ) 地区活動の支援

各地区で第 6 次地区地域福祉活動計画に基づき実施された事業について振り返りなどを行いながら実践につなげました。

ウ) 民生児童委員協議会への参加

毎月開催された民生児童委員協議会常務会、地区民生児童委員協議会定例会に職員が出席し、情報交換や連携の促進に取り組みました。

④地区社会福祉協議会活動支援事業（すこやかライフ推進事業）

住み慣れた地域において住民が主体となって、乳幼児から高齢者、障がい者など日常的に援助を必要とする人々への保健・福祉活動を推進するとともに、福祉コミュニティの形成を図ることを目的として、各地区社協が実施する地域福祉事業の経費を一部助成することで、地区社協活動を支援し地域福祉の推進に寄与しました。

ア) 必須事業

地域における要援護者に対する見守りネットワークを形成するとともに、必要な支援活動を行う地区に対し助成を行い、活動の助言・協力を行いました。

イ) 重点・選択事業

地域住民の保健、福祉を増進するための活動として、さまざまなメニューの中から地域の実情にあわせ選択された活動に対し助成を行い活動の助言や支援を行いました。

事業名等	内 容	地区数	金 額
必須事業	1 地区社協 100,000 円	29 地区	2,900,000 円
重点・選択事業	1 地区社協 300,000 円	29 地区	8,572,000 円
合 計			11,472,000 円

◆重点・選択事業の内容一覧

地区名		重点事業	選択事業
松東エリア	川津	①健康づくり活動の推進 (健康まつえ 21 川津地区推進隊) ②社会的孤立の予防・居場所づくりの推進	①福祉の集い&チャリティー古本市 ②広報活動 ③子育て支援
	朝酌	①健康まつえ 21 推進隊活動 ②介護予防の健康づくり活動	①子育て支援事業 ②地区地域福祉活動計画に基づいた福祉活動
	本庄	①健康づくり (健康まつえ 21 推進隊事業) ②民生児童委員・福祉推進員合同研修 ③こどもの居場所づくり事業	①なごやか寄り合い事業
	持田	①健康づくり事業 ②なごやか寄り合い支援事業	①配食サービス ②やすらぎ喫茶事業

地区名		重点事業	選択事業
	島根	①健康まつえ 21 推進事業	①福祉活動計画に基づく福祉活動支援
	美保関	①健康づくり活動の推進 (健康まつえ 21 計画の推進) ②社会的孤立の予防・居場所づくりの推進	①子育て支援活動 ②障がい児(者)の社会参加をすすめる活動 ③地区地域福祉活動計画に基づいた福祉活動
	八束	①健康まつえ 21 推進事業 ②高齢者ふれあい事業「まめだ会」	①ふれあい訪問 ②子育て支援事業 ③地域交流サロン
中央エリア	城北	①健康づくり活動の推進	①障がい児(者)の社会参加をすすめる運動 ②ミニデイサービス<お楽しみサロン>の開催 ③地区地域福祉活動計画に基づいた福祉活動
	城西	①健康づくり活動の推進 ②社会的孤立の予防・居場所づくり推進事業	①ふれあい会食サービス・ミニデイの開催 (なごやか寄り合い) ②子育て支援活動
	城東	①健康づくり事業 ②介護予防・閉じこもり予防の推進	①子育て支援事業 ②地域福祉計画推進事業
	白潟	①健康づくりの推進 ②介護予防・閉じこもり予防の推進事業	①友愛訪問事業 ②障がい児(者)の社会参加をすすめる活動 ③なごやか寄り合い事業 ④福祉だよりによる広報啓発活動事業
	朝日	①健康づくり活動の推進(健康まつえ 21 計画の推進) ②地域で支え合い閉じこもり予防・介護予防の推進を図る ③社会的孤立の予防事業	①地域ふれあい活動 ②地区関係者合同研修 ③情報誌の発行

地区名		重点事業	選択事業
	雑賀	①健康づくり事業 ②地域の支え合いづくり事業 ③ほっとさいか(認知症に関する研修・啓発事業)	①公民館喫茶憩い館 おでかけミニデイサービスときわ
松北エリア	古江	①健康づくり事業 ②なごやか寄り合い支援事業	①古江給食サービス
	秋鹿	①なごやか寄り合い	①高齢者すこやかふれあい大会 ②そよかぜ交流会・弁当配食 ③広報活動
	大野	①健康づくり活動の推進(健康講座) ②介護予防・閉じこもり予防の推進 ③社会的孤立の予防	①ミニデイサービス(なごやか寄り合い事業) ②配食・見守りサービス ③地区地域福祉活動計画に基づいた福祉活動 ④社協だよりの発行
	法吉	①健康づくり・認知症対策事業	①各自治会に福祉対策支援事業
	生馬	①元気で長生き道場 ②子育て支援(社会的孤立の予防) ③高齢者いきいき事業(社会的孤立の予防)	①高齢者世帯及び障がい者の福祉調査 ②友愛訪問(暑中・敬老・年末見舞い) ③情報誌の発行
	鹿島	①鹿島地区健康づくり事業 ②かしまほっとクラブ～鹿島地区男性介護者交流会～ ③なごやか世話人活動支援事業	①鹿島地区子育て支援事業 ②広報誌の発行
松南1エリア	津田	①こころとからだの健康づくりの推進	①ボランティア喫茶 ②友愛訪問 ③つだ社協だより

地区名		重点事業	選択事業
	大庭	①ふれあいレクリエーション大会 ②かなび健康講座（高齢者講座・研修会・健康講座） ③閉じこもり予防活動・友愛訪問	①巡回相談（巡回お悩み相談） ②あそび広場 ③ふれあい会 ④「おおば福祉だより」の発行
	古志原	①安全見守り事業 ②福祉ふれあい事業 ③健康づくり活動推進事業 ④なごやか寄り合い推進事業	①福祉活動広報事業 ②地区地域福祉活動計画に基づいた福祉活動
松南2エリア	竹矢	①健康づくり ②介護・生活習慣病予防講座	①子育て支援事業 ②ボランティア養成事業
	八雲	①健康づくり活動の推進 （八雲地区健康まつえ 21 推進隊事業）	①給食サービス
	東出雲	①なごやか寄り合い推進事業	①高齢者安否確認事業 ②広報事業
湖南エリア	乃木	①男の料理教室 ②乃木さんあい健康教室	①地域福祉事業 ②ふれあい弁当サービス
	忌部	①社会的孤立の予防・居場所づくり ②人材育成の推進 ③健康づくり活動の推進	①配食・会食サービスの実施 ②ふれあい会食サービス・ミニデイサービスの開催
	玉湯	①健康づくり活動の推進 ②介護予防・閉じこもり予防の推進	①配食・会食サービスの実施 ②子育て支援事業
	宍道	①いきいき元気クラブ介護予防教室 （前期）&オレンジカフェ（後期）	①「ちょっこし動いて楽しま会」事業

⑤地区社協会長会、幹事会及び事務局連絡会議

ア) 地区社会福祉協議会相互の連絡・調整を図り、地区社協活動の発展と地域福祉の推進に努めることを目的として、地区社協会長会（2回開催）・幹事会（1回）・正副会長会（2回）の開催に協力しました。

◆研修事業

事業名等	内容
第 17 回 松江市 社・公・自三団体 合同研修会	●日 時 令和 7 年 12 月 17 日（水）16:00～17:00 場 所 サンラポーむらくも（瑞雲の間） 参加者 26 名 内 容 講演 『セカンドライフ～素敵に年を重ねる秘訣をお話いたします～』 講師：俳優 高橋 英樹 氏 ※松江市町内会・自治会連合会 40 周年記念講演と合同開催
先進地視察研修 (隠岐郡海士町)	●期 日 令和 7 年 9 月 29 日（月）～9 月 30 日（火） 視察先 海士町社会福祉協議会 参加者 27 名 内 容 海士町における地域福祉活動の実践者との意見交換など

イ) 事務局連絡会議

- 日 時 令和 7 年 7 月 2 日（水）13:30～17:00
- 会 場 松江市総合福祉センター大ホール、4 階教養室
- 参加者 62 名
- 内 容 【第 1 部】
各種情報提供（松江保健所、松江市社会福祉協議会ほか）
ステーション企画報告（中央、松東、松北）
【第 2 部】※地区社協事務局職員対象
各種事業手続き様式説明、質疑応答、意見交換会（ブロック別）

⑥福祉推進員代表者会

福祉推進員が行う地域福祉活動を円滑に行うため、また福祉推進員の活動に必要な研修会の開催を検討するために幹事会並びに代表者会を開催しました。

◆代表者会・幹事会

事業名等	内容
第 1 回 代表者会・幹事会	●日 時 令和 7 年 7 月 7 日（月） 幹事会 10:00～11:00 代表者会 11:00～12:00 会 場 松江市総合福祉センター 4 階教養室 出席者 幹事会 5 名 代表者会 22 名 内 容 ・令和 7 年度福祉推進員代表者会役員体制について ・令和 6 年度事業報告について ・令和 7 年度事業計画について

事業名等	内容
第2回 代表者会・幹事会	●日時 令和7年9月24日（水） 幹事会 10:00～10:30 代表者会 10:30～11:30 - 会場 松江市総合福祉センター 4階 教養室 - 出席者 幹事会 6名 代表者会 20名 - 内容 ・福祉推進員全体研修会報告について ・福祉推進員ブロック研修会(案)について など
第3回 代表者会・幹事会	●日時 令和8年2月19日（木） 幹事会 10:00～10:30 代表者会 10:30～11:30 - 会場 松江市総合福祉センター 4階 教養室 - 出席者 幹事会 7名 代表者会 22名 - 内容 ・令和7年度福祉推進員事業の振り返り ・福祉推進員活動についてのグループワーク など

⑦福祉推進員研修会

ア) 福祉推進員（初任者）全体研修会の開催

新任の福祉推進員及び再任の福祉推進員を対象に、講演会や発表を通して実際の福祉推進員の役割や人と人とのつながりづくりの重要性について学び、今後の実践活動に活かしていただくことを目的に開催しています。今年度は、ご近所福祉クリエーター酒井保先生の講演会と福祉推進員代表者会福良智洋会長の発表を実施しました。

◆福祉推進員全体（初任者）研修会

○日時 令和7年7月10日（木）13:30～15:30

○場所 松江市総合福祉センター 4階 大ホール

○参加者 84名

○内容 ・講演会

「安心して暮らせるまちづくり 2 ～なぜ、地域の繋がりが必要なのか～」

講師：ご近所福祉クリエーター 酒井 保 氏

・発表

「福祉推進員の活動を通じて得たもの」

発表者：福祉推進員代表者会 会長 福良智洋氏

イ) 福祉推進員ブロック研修会の開催

令和7年度のブロック研修会は、カードゲームやニュースポーツを通じた、他地区の福祉推進員との交流や意見交換を行いました。これにより福祉推進員によるネットワークの構築や新たな活動の視点を取り入れ、地域でのサロン・なごやか寄り合いでの活動や、地域における包括的な支援につなげていくことを目的に開催しました。

事業名等	内容
中央ブロック 城西・城東・城北・ 白潟・朝日・雑賀	●日 時 令和 7 年 11 月 28 日（金）10:00～11:30 会 場 松江市総合福祉センター 4 階 教養室 参加者 福祉推進員 17 名
松東ブロック① 川津・朝酌・本庄・ 持田	●日 時 令和 7 年 12 月 17 日（水）10:00～11:30 会 場 川津公民館 イベントホール 参加者 福祉推進員 17 名
松東ブロック② 島根・美保関・八束	●日 時 令和 7 年 12 月 17 日（水）10:00～11:30 会 場 川津公民館 イベントホール 参加者 福祉推進員 17 名
松北ブロック 古江・秋鹿・大野・ 法吉・生馬・鹿島	●日 時 令和 8 年 2 月 3 日（火）14:00～15:30 会 場 鹿島公民館 参加者 福祉推進員 19 名
松南ブロック 津田・古志原・大庭 竹矢・八雲・東出雲	●日 時 令和 7 年 12 月 16 日（火）10:00～11:30 会 場 古志原公民館 古友館 参加者 福祉推進員 24 名
湖南ブロック 乃木・忌部・玉湯・ 宍道	●日 時 令和 7 年 11 月 13 日（木）13:30～15:00 会 場 乃木公民館 参加者 福祉推進員 15 名
研修会共通	内 容（共通） ①N-impro（ニンプロ）を使用したグループワーク＋意見交換会 中央・松東 1・松東 2・湖南 ②もしバナゲームを使用したグループワーク＋意見交換会 松南 1・2 ③ニュースポーツ体験＋意見交換会 松北

⑧あったかスクラム事業の支援

松江市内 11 会場で実施されている「あったかスクラム事業」（障がいのある子どもの地域活動、その親の会活動支援）関係者の情報交換を目的に「あったかスクラム代表者会」を開催しました。

また、令和7年度はあったかスクラムのパンフレットを新たに作成しました。

事業名等	内容
第1回代表者会	●日 時 令和7年5月8日（金）13:30～15:00 会 場 松江市総合福祉センター 2階 身障者研修室 出席者 あったかスクラム代表者（8名） 内 容 ・あったかスクラム事業事務局体制について ・2025健康福祉フェスティバルブース出展について ・各地区の取り組み状況と課題について ・新パンフレットの作成について

⑨生活再建うちクリーニング事業

市民が安心・安全に住みなれた地域で暮らすため、疾病や障がい、認知機能の低下等により身の整理整頓、衛生的生活環境が保てないことによる健康被害や教育環境を整えることが難しい世帯に対し、市と市社協が協力し、ゴミの片付け、運搬を実施し、自立に向けた支援を行いました。令和4年度以降支援ケースがなかった為、要領及び市との連携方法を再確認し、令和7年度は3件支援を行いました。新たなサービスの導入と孤立感、疎外感の解消を図り、生活の立て直しのきっかけとしてもらおうと共に、支援を必要とする人たちを地域社会でサポートする体制づくりにつなげました。

年度	利用者数
R7年度	3件
R6年度	0件
R5年度	0件

【プロジェクト】

⑩新たなつながりプロジェクト

近年、一人暮らしや身寄りのない人たちが増え、血縁や地縁による助け合い・支え合いでは解決できない問題が生じています。社協内にプロジェクトチームを組織し身寄りのない方同士の互助組織の立ち上げを視野に、当事者の方の集いを開催しました。

◆第1回

- 内 容 ランチ会
- 日 時 令和7年4月18日（金）11時30分～14時
- 参加者 5名

◆第2回

- 内 容 ランチ会（てっぱん焼きづくり）
- 日 時 令和7年7月25日（金）11時～14時
- 参加者 6名

◆第3回

- 内 容 茶話会、ACPの話（説明：松江市医療介護連携支援センター）
- 日 時 令和7年12月3日（水）14時～16時
- 参加者 2名

◆第4回

- 内 容 茶話会、ビデオ鑑賞（ETV特集「ひとりだけど、ひとりじゃない（鹿児島ゆくさの会）」
- 日 時 令和8年2月18日（水）14時～15時30分
- 参加者 2名

2-(3) 広域福祉事業の推進

【生活支援課】

①福祉サービス利用援助事業の推進

認知症高齢者・知的障がい者・精神障がい者など判断能力が不十分な方々に対して、できる限り地域で安心して自立した生活が送れるよう、福祉サービスの利用援助、日常的金銭管理サービス、書類等の預りサービスを行いました。また、関係機関への周知及び連携など事業の円滑な推進に努めました。

◆相談・問合せ件数

年度	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	計
R7年度	541件	4,120件	2,676件	248件	7,585件
R6年度	1,127件	4,726件	2,385件	175件	8,413件
R5年度	1,095件	5,493件	2,024件	429件	9,041件

◆契約締結人数

年度	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	計
R7年度	172人(0)	154人(1)	108人(0)	9人(0)	443人(0)
R6年度	172人(1)	154人(3)	108人(2)	9人(0)	443人(6)
R5年度	171人(2)	151人(0)	106人(2)	9人(0)	437人(4)

（ ）内は年度内新規契約件数

◆現在の実利用人数

年度	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	計
R7年度	5人	64人	19人	4人	92人
R6年度	8人	65人	19人	4人	96人
R5年度	7人	67人	20人	4人	98人

「その他」は、高次機能障がいの方

◆生活支援員の配置状況

年度	登録者数	内活動者数
R7 年度	80 人	37 人
R6 年度	73 人	36 人
R5 年度	74 人	30 人

◆生活支援員研修会

内 容	期 日	人数
権利擁護支援者交流会 (市社協主催)	令和 8 年 2 月 27 日	16 人
日常生活自立支援事業生活支援員研修会 (県社協主催)	令和 7 年 9 月 30 日	7 人

②法人後見事業

成年後見制度とは、認知症、知的障がい、精神的疾病などにより判断能力が十分でない方の権利や財産を守り、支援していく制度です。

法人後見事業は、松江市社会福祉協議会が法人として成年後見人等に就任し、後見事務を行っていく事業で、本人の財産管理や契約等の支援を行いました。

◆法人後見事業の推移 死亡ケース含まず

年度	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	計
R7 年度	11 件 (後見 7・保佐 2・補助 2)	9 件 (後見 5・保佐 4)	3 件 (後見 1・保佐 2)	23 件
R6 年度	14 件 (後見 8・保佐 4・補助 2)	8 件 (後見 5・保佐 3)	5 件 (後見 3・補助 2)	27 件
R5 年度	15 件 (後見 12・保佐 2・補助 1)	14 件 (後見 9・保佐 5)	3 件 (後見 2・補助 1)	32 件

◆法人後見支援員の活動状況

年度	登録者数	内活動者数
R7 年度	16 人	8 人
R6 年度	16 人	14 人
R5 年度	16 人	15 人

3. ボランティア活動及び福祉教育

3-(1) コーディネート機能強化

【地域福祉課ボランティアセンター】

ボランティアをしたい人、ボランティアを必要とする人をつなぐ機能を強化し、高齢者や障がい者など支援を必要とする人が地域の中で自立した生活ができるよう支援しました。

◆ボランティア登録人数及び団体数

登録ボランティア分類	R7 年度	R6 年度	R5 年度
個人ボランティア	165 名(23)	146 名(20)	140 名(14)
団体ボランティア	119 団体(20)	104 団体(15)	94 団体(7)

() は新規登録者 (団体) 数

◆ボランティアの斡旋実績

利用状況	R7 年度	R6 年度	R5 年度
派遣依頼数	231 件	185 件	120 件
派遣団体数	32 団体	34 団体	27 団体
個人ボランティア延派遣者数	55 人	17 人	26 人
コーディネート数(マッチング回数)	185 件	165 件	123 件
キャンセル・該当者なし	5 件	6 件	1 件

◆相談機関・団体等との連携推進

個別支援の対応として、個人登録者・ゆうあいヘルプ・松江市くらし相談支援センター・地域包括支援センター・各エリアの CSW や市等の関係機関と連携し、ボランティアのコーディネートを行いました。

また松江工業高等学校の「地域企業・地域住民と協働することにより、地域産業の発展に寄与できる心豊かな技術者育成を目標とした課題研究としての取り組み」の一環として実施された車いすの点検・修理に協力しました。

3-(2) ボランティアの育成、養成

ボランティアの育成・養成に取り組みました。

①育成研修

①-1 2025 サマーチャレンジボランティア

ボランティア活動に関心のある方が市内の社会福祉施設等での体験を通じて社会福祉についての理解を深めると同時に、さまざまな出会いのなかから、新しい発見やボランティア活動について考える機会を提供しました。

◦実施期間 令和 7 年 7 月 28 日 (月) ～8 月 22 日 (金)

◦内 容 ・事前研修会 講話・説明、活動先職員と参加者同士のグループ面談
・体験先 高齢者施設、障がい者施設、保育所、救護施設

- ・事後研修会 個人ワーク、活動発表・振り返り
- 参加状況 申込者数 31 名（高校生） 活動者 29 名 修了者 26 名

①-2 あいサポート研修

障がいのある方が暮らしやすい地域社会（共生社会）の実現を目指す「あいサポート運動」の推進に取り組みました。

ア) あいサポート運動の啓発

- ・「ボランティアセンターだよりつなぐ 27 号」の紙面にて紹介しました。
- ・令和 7 年度障害者週間該当啓発活動へ参加し、「あいサポーター」啓発と、「ヘルプマーク ヘルプカード」趣旨周知のためのチラシを配布しました。

イ) あいサポーター研修の受付・推進

企業、団体等に対してメッセージャーを派遣し、研修を実施しました。

実施団体数・・・29 団体 33 回 受講人数・・・1,257 人

◆あいサポーター研修実施団体詳細

団体種別	団体数	団体種別	団体数
小学校	3	地域住民	1
中学校	1	行政関係	0
各種学校	7	その他	4
企 業	13	合計	29

ウ) あいサポートメッセージャーの登録・活動継続の意思確認

◆メッセージャー登録者数

R7 年度	R6 年度	R5 年度
157 名	170 名	163 名

②養成研修

②-1 ボランティア講座

- 開催日 令和 7 年 11 月 1 日（土）
- 会 場 松江市総合福祉センター4 階 教養室
- 参加者 6 名

②-2 くらし安心サポートセミナー

- 開催日 令和 7 年 10 月 18 日（土）
- 会 場 松江市総合福祉センター4 階 教養室
- 参加者 8 名（修了者：7 名）

②-3 介護の入門的研修

- 開催日 令和 7 年 10 月 28 日（火）～10 月 31 日（金）
- 会 場 松江市総合福祉センター4 階 教養室

◦参加者 11 名（修了者：10 名）

3-(3) ボランティアの活動支援

①ボランティアルームの開放、備品の貸出し及び保険の加入促進

◆ボランティアルーム利用状況

利用状況	R7 年度	R6 年度	R5 年度
実利用日数	117 日	198 日	170 日
延べ利用団体数	116 団体	120 団体	95 団体
延べ利用人数	382 名	456 名	411 名

◆ボランティア活動に伴う機材等の貸出

貸出機材	R7 年度	R6 年度	R5 年度
コピー機	82 件	106 件	76 件
車椅子	73 件	118 件	89 件
アイマスク	2 件	5 件	3 件
その他（高齢者疑似体験セット・スクリーン等）	9 件	66 件	54 件

◆ボランティア保険の加入促進

ボランティア保険種類	R7 年度	R6 年度	R5 年度
ボランティア活動保険（基本）	6,369 名	6,355 名	6,273 名
（天災・地震補償）	580 名	545 名	412 名
（特定感染症重点）	0 名	0 名	90 名
ボランティア行事用保険	1,411 件	1,703 件	1,635 件
福祉サービス総合補償	12 件	11 件	10 件
送迎サービス補償	3 件	4 件	4 件

※事故取扱件数 10 件

②ボラカフェの開催

ボランティアをしたいけど、何をしたいかわからない。一步を踏み出したいという人のきっかけづくりとして、古切手整理、啓発用リボンの作成などの軽作業を実施しました。

◦開催日：毎月第 4 水曜日 14:00～15:30

◦回数：12 回

◦参加実数：延べ 202 名

③おうち de ボランティアの実施

古切手整理

自宅で誰でも簡単にできるボランティア活動として実施しました。

- ・参加：古切手整理 7件

④松江市ボランティア連絡協議会との連携、活動支援

ア) 松江市ボランティア連絡協議会登録団体数

分 類	R7 年度	R6 年度	R5 年度
健康・福祉・まちづくり	24 団体	26 団体	29 団体
子ども・青少年・人権	20 団体	19 団体	20 団体
文化・芸術・スポーツ・レクリエーション・国際・情報	21 団体	21 団体	22 団体
計	65 団体	66 団体	71 団体

イ) 主な活動

- ・松江城・街美化ウォークの開催：令和 7 年 9 月 6 日(土)開催
- ・おもちゃの寄贈 玩具メーカーのハズブロ社が行っているトイ・ドネーション（おもちゃ寄贈の社会貢献活動）に当連絡協議会が応募し受取った寄贈品を、松江市社会福祉協議会や、市内子ども関連施設、子ども食堂活動団体等へ寄贈しました。
- ・松江市ボランティアフェスティバルの開催：令和 7 年 6 月 15 日(日)
- ・各種会議の開催：役員会 3 回

運営委員会：令和 7 年 5 月 13 日（火）書面表決

総 会：令和 7 年 5 月 21 日（水）

松江城・街美化ウォーク 企画会議 4 回実施

⑤企業ボランティア松江ネットワーク会議との連携、活動支援

ア) 加入者数：企業会員 58 企業、個人会員 44 名

イ) 総会・研修会の開催

事業名等	内 容
総会・研修会	●日 時 令和 7 年 10 月 8 日（水）15:00～16:30 会 場 松江ニューアーバンホテル 講 演 「社会福祉と SDGs ～世界の現状と企業の力の重要性～」 講 師 島根大学学術研究院教育学係 教授 しまねフォーラム・エネルギー問題協議会エネルギー問題専門委員会 委員長 松江市 SDGs アドバイザー 松本一郎氏 参加者 21 名

ウ) 正副専門委員長会の開催

7 月 29 日 第 1 回正副専門委員長会

エ) 美化活動、水燈路の行燈の審査・表彰授与、赤い羽根共同募金活動への協力、ひとり一品

運動への協力、松江市民余芸大会への参加・チケット販売

オ) 機関紙の発行 NO.42 R8.2月発行

⑥松江市社会福祉法人連絡会との連携、活動支援

ア) 幹事会の開催

令和7年6月6日 第1回幹事会

令和7年7月15日 第2回幹事会

令和8年1月29日 第3回幹事会

令和8年3月25日 第4回幹事会

イ) 総会・研修会の開催

事業名等	内 容
総会・研修会	●日 時 令和7年7月31日(木) 15:30~17:00 会 場 松江市総合福祉センター4階大ホール 事例報告 「多職種連携による支援の現状と社会福祉法人に求められる役割」 報 告 者 コミュニティソーシャルワーカー 参 加 者 24法人42名、

ウ) 地域における権利擁護体制づくり推進モデル事業の検討、実施

島根県社会福祉協議会からの助成を受け、権利擁護や成年後見制度に関する理解を深めるための研修会を開催しました。

事業名等	内 容
福祉現場で働く 人のための成年 後見セミナー	●日 時 令和8年2月27日(金) 14:00~16:00 会 場 松江市総合福祉センター 4階大ホール 内 容 講 演「地域で進める権利擁護支援～成年後見制度の今とこれから」 特定非営利法人権利擁護支援プロジェクトともす 理事長 川端 伸子 氏 制度説明 成年後見制度説明 松江市権利擁護推進センター 清水 参加者 52名

エ) 実務者会議の開催

令和7年7月31日 第1回実務者会議

令和8年1月13日 第2回実務者会議

令和8年2月27日 第3回実務者会議

ふくしなんでも 相談所 事例勉強会	●日 時 令和 8 年 1 月 13 日（火）13：30～16：00 会 場 松江市総合福祉センター4 階教養室 内 容 全方位型アセスメント事例検討会 参加者 49 名
-------------------------	--

オ) 情報発信

- ・機関紙『ワンラブ通信』の発行(令和 8 年 3 月)
- ・市社協ホームページでの情報提供

カ) ふくしなんでも相談窓口の設置

9 法人 20 事業所

対応件数 7 件

キ) ひとり一品運動への協力

3-(4) ふくし教育の推進

ふくし教育についての相談や情報提供し、講師派遣の調整を行いました。

ア) 福祉学習推進の支援（講師派遣数）

区 分	R7 年度	R6 年度	R5 年度
学校関係	32 回	25 回	28 回

イ) 介護の基礎的講座普及モデル事業の推進

中学校学習指導要領の改定において、高齢者など地域の人々と協働する必要性や介護など高齢者との関わりを実践的に学ぶことが規定されました。こうしたことから、中学校において「福祉の心」を育む教育を推進するとともに、高齢者や介護に関する興味・関心を醸成し、将来の進学または職業選択の一助とすることを目的として、講義や体験的な活動等を実施しました。

講師については老施協の協力を得て、介護現場で高齢者を第一線で支える介護施設職員を「介護の仕事コンシェルジュ」として派遣しました。令和 7 年度より法人、施設単位での登録となりました。

◆介護の仕事コンシェルジュ登録者数

12 法人、19 施設

◆実施状況

区 分	R7 年度	R6 年度	R5 年度
実施校数	9 校	8 校	6 校
人数	1,034 名	732 名	643 名
実施回数	16 回	13 回	10 回

◆もんじゅの知恵～「ふくし教育」実践プログラム集～の活用

「ふくし教育」を進めていくためのポイントやSDGsの視点を取り入れた実践プログラム集や申込書等を掲載したもんじゅの知恵～「ふくし教育」実践プログラム集～を活用し、学校等

で実践を行いました。

3-(5) ボランティア活動の広報・啓発・広聴活動の強化

ホームページの充実や情報誌の発行及びボランティアの相談受入の充実に努めました。

◆ボランティアセンター情報紙「つなぐ」を年3回（6月・10月・2月）発行しました。

◆公式LINEを新たに開設し、ボランティア募集についての情報発信を行いました。

◆収集ボランティア活動支援（古切手、プルタブ等受付）

区 分	R7 年度	R6 年度	R5 年度
受付件数	114 件	111 件	108 件

3-(6) 松江市まめなかポイント事業の実施

市の委託事業として、65歳以上の元気高齢者となごやか寄り合い事業を対象にして、高齢者自身の社会参加活動を通じた介護予防の促進と活躍の場の進展、地域活動・ボランティア活動の推進に取り組みました。

区 分	R7 年度	R6 年度	R5 年度
個人登録者数	115 名(15)	117 名(13)	108 名(23)
団体（なごやか寄り合い） 登録数	201 団体(6)	207 団体(5)	202 団体(7)
受入施設登録数	58 施設(6)	54 施設(2)	52 施設(9)

（ ）は新規登録数

4. 在宅生活支援事業の推進

4-(1) 地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組み

①地域包括支援センター事業の推進

【地域包括ケア推進課】

地域包括支援センターは、高齢者等の地域住民の総合相談、権利擁護や地域の支援体制づくり、介護予防に必要な援助などを行い、地域住民の保健医療の向上および福祉の増進を包括的に支援しました。

■重点事業

ア) 総合相談業務

○福祉推進員委嘱状交付式や民協定例会、地域で開催される研修会など、福祉推進員、民生児童委員のほか、医療機関・金融機関・商店・コンビニ等に包括チラシやふくしなんでも相談のチラシを配布し周知しました。また、19会場で出張なんでも相談を行いました。

○包括とCSWで合計118件のふくしなんでも相談を受け付けました。イオンなんでも相談から支援につながる相談もありました。

- 支援や関わりを拒否されたひきこもりの方に対して、CSW やアウトリーチ専門職員とともに訪問を行いました。
- 処遇困難・多問題世帯については、社協内対策会議、重層的支援会議で、支援方法について協議し対応しました。

イ) 権利擁護業務

- 虐待通報件数が 76 件(内新規ケースが 56 件)あり、のべ対応回数は 277 回でした。「松江市高齢者虐待対応マニュアル」に基づいて、すみやかに市と協議し、介護支援専門員・主治医・サービス事業所等の関係機関と連携して虐待対応を行いました。
- ブロック連絡会で「高齢者施設虐待防止について」の研修会を開催し、虐待防止の周知を図りました。地域包括支援センターや居宅介護支援事業所だけでなく、介護サービス事業所や施設職員など関係者が共に学ぶことで、早期の通報の重要性、相談・解決に向けて共通認識を持つことが出来ました。
- 各包括において成年後見制度のニーズの高いケースについて、後見申立の類型や今後確認していく内容等検討するチームを立ち上げ、権利擁護推進センターと検討会を行いました。
- 認知症などにより判断能力が低下した方の支援として市長申し立てを 4 件要請し、親族・本人申し立てを 15 件支援しました。
- 身寄り問題の啓発として、市民講演会「身寄り問題を考える」を開催しました。171 名の参加があり、市民や関係機関に ACP の取り組み報告、当事者や支援者の話などにより啓発することができました。
- 身寄り問題プロジェクトを課内で立ち上げ、市内医療機関、福祉施設にヒアリングを実施しました。ヒアリングでの対応課題を共有・整理することができ、入退院支援ガイドラインに追記案を作成することができました。
- 当事者同士の集いを 4 回開催（法人での「新たなつながりプロジェクト」）し、身寄り問題を抱える当事者同士の交流を図ることができました。

ウ) 介護予防ケアマネジメント業務

- 地域で開催された健康教室やなごやか寄り合い (55 会場)の参加者や、実態把握訪問をした方、合計 1,011 名に対して、通いの場への参加継続やフレイル予防の啓発を行いました。総合相談も同様に、チラシを活用しながらフレイル予防や通いの場を紹介しました。
- 令和 7 年度作成した低栄養予防パンフレットの配布を行いました。高齢者向けパンフレットは 877 部、支援者向けパンフレットは 649 部配布しました。また、松江市の管理栄養士と協議し、新たな低栄養予防向けレシピを検討しました。高齢者からは、「日頃の食事に取り入れてみたい。」という意欲的な声や、「実際にやっている。手軽にできる。」といった声がありました。
- 他市町村（出雲市、雲南市、安来市）の包括保健師との交流会を実施し、米子市のフレイル予防アプリの取り組みについての研修・意見交換会を行いました。
- 松江市の令和 7 年度からの新規の取り組みである身体的フレイルリスク者への早期アプ

ローチを目的に、該当したハイリスク者に対して訪問を行いました。訪問時、地域の通いの場や低栄養に関して情報提供を行いました。また必要時、チェックリストからの総合事業への勧奨、介護保険申請を行い、必要なサービスにつなげることができました。

○松江市健康推進課が 29 公民館区で行ったフレイル測定会に参加し、測定の補助や保健指導の支援を行いました。

○松江市住民主体の通所サービス（通所 B）の新規 2 か所の立ち上げ支援を行いました。

エ) 包括的・継続的ケアマネジメント

○令和 3 年度から市の委託事業として GPS 端末機を貸出し、新規利用者 15 名に貸し出しをしました。

○認知症見守りシール事業では、令和 4 年 3 月から累計で 183 名にシールを配布しました。見守りシール啓発チラシを作成し関係機関へ配付しました。

○松江市オレンジカフェには 10 回参加し、延べ 56 名の家族及び当事者の参加がありました。個別の相談があった方へは、助言や必要な専門窓口（担当包括等）へ繋げる事ができました。

○認知症の啓発活動として、社協だよりに記事掲載を行いました。また、山陰中央新報「りびえーる」に記事掲載されました。

○認知症 VR ファシリテーター養成講座を 3 名受講し、認知症 VR 体験会の補助を 4 回行いました。

○若年性認知症の理解、啓発を図るため、若年性認知症講演会を開催し、ケアマネジャー、サービス事業所、施設などから 91 名の参加がありました。物品展示が好評であったため、次年度の松江市健康福祉フェスティバル等でも、実際ツール（GPS 端末等）に触れる機会を増やしていきたい。

○イオンやみしまや、A コープなどに加え、病院、薬局、コンビニエンスストア、金融機関などに SOS 見守りネットワークチラシを配布しました。

○9 月 1 日～9 月 30 日松江市役所とイオン松江ショッピングセンターにて見守りネットワークデジタルサイネージ放映を松江市と共同で行いました。

○コグニサイズ（運動と認知トレーニングを組み合わせた認知症予防運動プログラム）を活用した認知症予防と居場所づくりを目標として、地区の研修会やなごやか会等（9 会場・164 名）にコグニサイズを体験していただきました。

○一人暮らし高齢者の困りごとや心配事について、Q&A 方式の資料を作成し、各地区で啓発活動を行いました（6 地区・8 回）。

オ) 地域ケア会議の開催

○松江市個別地域ケア会議を年 12 回開催し、計 71 事例を検討し、自立に向けた状態の改善、重度化防止の対策について取り組みました。

○松江市個別地域ケア会議の評価会議を 2 回開催し地域課題について検討しました。また、令和 6 年度の助言者アンケートに「検討後の事例の様子が知りたい」との意見があり、令和 7 年度に検討した事例から半年後のモニタリング結果を、検討に参加した助言者に

報告するように変更しました。

○助言を受けて利用者本人やケアマネに良い変化があった好事例 10 事例を追加し、松江市個別地域ケア会議事例集第 5 版を作成しました。市内のケアマネ事業所、助言者の職能団体にメールし、松江市社会福祉協議会ホームページで周知しました。

○R6 年度のケアマネアンケートの結果を受けて、松江市個別地域ケア会議の検討事例を開催担当の包括エリアや要支援 1・2、事業対象者に限らず、ケアマネが支援に困っていて助言者から専門的な視点から助言がもらいたい要介護の事例を追加しました。行き詰っていた支援や関わり方のヒントやアセスメントの視点が得られ、事例検討してもらってよかったとの感想がありました。ただケアマネが支援に困っている事例や、要介護度が重度の事例は地域課題が出にくい傾向がありました。

○R6 年度のアンケート結果から、R7 年度は助言者・介護支援専門員合同研修会を開催しました。地域課題の取り組み報告や多職種交流会に 69 名の参加がありました。

◆相談件数

区 分	相談件数		相談実利用者		介護予防ケアマネジメント及び 予防給付管理 プラン数(3 月 末)		ケアマネジャー 支援	
	R 7	R6	R 7	R6	R7	R6	R 7	R6
中央地域包括	3,940	3,394	547	500	638	626	22	6
松北地域包括	2,962	2,926	448	480	382	477	66	58
松東地域包括	3,349	3,015	555	518	649	596	43	46
湖南地域包括	1,826	2,088	480	457	433	465	6	32
松南第 1 地域包括	3,161	3,029	705	690	564	572	22	16
松南第 2 地域包括	2,075	1,630	457	562	365	349	26	10
計	17,313	16,082	3,192	3,207	3,031	3,085	185	168

◆公開講座

事業名等	内 容
公開講座 第 1 回	市民講演会「身寄り問題を考える」 ●日 時 令和 8 年 2 月 14 日(水) 14 : 00～16 : 00 内 容 【講演会】 市民講演会「身寄り問題を考える」 ひとりにしないまちづくり～単身社会と希望のまち～ 講師 NPO 法人抱樸理事長 奥田知志 氏

事業名等	内 容
	支援担当者、当事者 参加者 171 名

◆ブロック連絡会

事業名等	内 容
ブロック連絡会 第 1 回	●日 時 令和 7 年 6 月 24 日(火) 13:30～15:00 会 場 松江市総合福祉センター大ホール 内 容 ①失語症者支援センターより 一般社団法人山陰言語聴覚士協会 言語聴覚士 大嶋 亮子 氏 松江市障がい者福祉課 障がい者政策係長 曾田 秀二 氏 松江市障がい者福祉課 副主任 吉田 有希 氏 ②高次脳機能障害支援拠点について 松江青葉病院 精神保健福祉士 仲西 秀之 氏 ③松江市社会福祉協議会より 地域福祉課、生活支援課、地域包括ケア推進課 参加者 125 名
第 2 回	●日 時 令和 7 年 10 月 22 日(水) 13:30～15:00 会 場 松江市総合福祉センター大ホール 内 容 松江市の高齢者虐待の現状 松江市社会福祉協議会 地域包括ケア推進課 課長補佐 小須賀 昭雄 講 演 『高齢者虐待防止法と市町村の責務』 講 師 法テラス島根法律事務所 弁護士 加藤 大介 氏 参加者 136 名

◆松江市事例検討会

事業名等	内 容
松江市事例検討会 (勉強会)	●日 時 令和 7 年 5 月 22 日(木) 13:30～15:45 会 場 松江市総合福祉センター 4 階 教養室 内 容 ・事例の書き方の説明 ・DVD 上映 参加者 24 名
松江市事例検討会	年間 参加者(ケアマネ) 延べ 78 名 検討事例 6 事例

事業名等	内 容
第 1 回	●日 時 令和 7 年 7 月 15 日(火) 13:30～15:00 参加者 11 名 (松南第 2 エリア 1 事例)
第 2 回	●日 時 令和 7 年 7 月 22 日(火) 13:30～15:00 参加者 19 名 (松南第 1 エリア 1 事例)
第 3 回	●日 時 令和 7 年 9 月 17 日(水) 13:30～15:00 参加者 13 名 (中央エリア 1 事例)
第 4 回	●日 時 令和 7 年 9 月 19 日(金) 13:30～15:00 参加者 11 名 (湖南エリア 1 事例)
第 5 回	●日 時 令和 7 年 11 月 11 日(火) 13:30～15:00 参加者 11 名 (松東エリア 1 事例)
第 6 回	●日 時 令和 7 年 11 月 18 日(火) 13:30～15:00 参加者 13 名 (松北エリア 1 事例)
居 宅 支 援 事 業 所 管理者意見交会	●日 時 令和 7 年 12 月 16 日(金) 13:30～15:00 会 場 松江市総合福祉センター 4 階教養室 内 容 事業所からの情報提供 (1 事業所) 意見交換 ・シャドーワークについて 参加者 29 名

◆地域ケア会議

事業名等	内 容
各包括での地域ケア 会議	困難事例等の対応検討や支援者の情報共有等、地域課題について地域の関係者等と検討しました。 個別課題の検討 開催回数 55 回 延べ 62 事例を検討 地域課題の検討 開催回数 9 回
松江市個別地域ケア 会議	多職種が協働で個別ケースの支援内容を検討することで、高齢者の課題解決や、介護支援専門員の自立支援に資するケアマネジメントの実践力の向上を図りました。 会 場 松江市総合福祉センター 4 階教養室 参加者 介護支援専門員(事例提出者) 助言者 薬剤師、訪問看護師、リハビリ専門職(理学療法士・作業療法士・言語聴覚士のいずれか 1 名)、歯科衛生士、管理栄養士、臨床心理士、主任ケアマネ、保健師、社会福祉士、社協 CSW(兼務、生活支援コーディネーター)

事業名等	内 容
	検討事例 71 事例
第 1 回	●日 時 令和 7 年 5 月 29 日 (木) 13 : 30～16 : 30 検討事例 6 事例 会場:福祉センター
第 2 回	●日 時 令和 7 年 6 月 12 日 (木) 13 : 30～16 : 30 検討事例 6 事例 会場:福祉センター
第 3 回	●日 時 令和 7 年 6 月 19 日 (木) 13 : 30～16 : 30 検討事例 6 事例 会場:福祉センター
第 4 回	●日 時 令和 7 年 7 月 17 日 (木) 13 : 30～16 : 30 検討事例 6 事例 会場:福祉センター
第 5 回	●日 時 令和 7 年 7 月 24 日 (木) 13 : 30～16 : 30 検討事例 6 事例 会場:福祉センター
第 6 回	●日 時 令和 7 年 8 月 21 日 (木) 13 : 30～16 : 30 検討事例 6 事例 会場:福祉センター
第 7 回	●日 時 令和 7 年 11 月 13 日 (木) 13 : 30～16 : 30 検討事例 6 事例 会場:福祉センター
第 8 回	●日 時 令和 7 年 11 月 20 日 (木) 13 : 30～16 : 30 検討事例 6 事例 会場:福祉センター
第 9 回	●日 時 令和 7 年 12 月 11 日 (木) 13 : 30～16 : 30 検討事例 6 事例 会場:福祉センター
第 10 回	●日 時 令和 7 年 12 月 18 日 (木) 13 : 30～16 : 30 検討事例 6 事例 会場:福祉センター
第 11 回	●日 時 令和 8 年 1 月 22 日 (木) 13 : 30～16 : 30 検討事例 5 事例 会場:福祉センター
第 12 回	●日 時 令和 8 年 2 月 19 日 (木) 13 : 30～16 : 30 検討事例 6 事例 会場:福祉センター
評価会議 第 1 回	●日 時 令和 7 年 10 月 16 日 (木) 13 : 30～16 : 30 会場:松江市総合福祉センター 4 階教養室 評価会議 35 事例 (令和 6 年 9 月 19 日～令和 7 年 2 月までの事例) 地域課題「難聴のある方への支援・孤立予防について」をテーマに、 ①事例検討後の報告、②意見交換、③ミニ勉強会「高齢期における難 聴について」講師 いわもと耳鼻咽喉科医院 院長 岩元純一様から 講演をいただきました。
第 2 回	●日 時 令和 8 年 3 月 12 日 (木) 13 : 30～16 : 30 会場:松江市総合福祉センター 4 階教養室

事業名等	内 容
研修会 第 1 回 (助言者・事例提出者合同研修会)	評価会議 36 事例（令和 7 年 5 月～令和 7 年 8 月までの事例） 地域課題「高齢者の運転フレイル」をテーマに、①事例報告「本人の努力と助言を実践し、運転を再開できた事例」、②ミニ勉強会 講師 訪問看護ステーションありがとう 理学療法士 濱田 龍 様、③意見交換を行いました。 ●令和 7 年 5 月～令和 7 年 8 月まで 36 事例は、モニタリング結果を会議に参加した助言者に郵送し、コメントを Google フォームに記載してもらった。 ●日 時 令和 7 年 9 月 11 日（木）14:00～16:00 会場:松江市保健福祉総合センター 内 容 ①「地域ケア会議の目的について」包括から説明、②「地域課題の取り組み報告」CSW・包括、③交流会 参加者：69 名(薬剤師 10 名、訪問看護師 2 名、歯科衛生士 1 名、理学療法士 2 名、主任ケアマネ 31 人、ケアマネ 4 人、生活支援コーディネーター 8 名、包括 11 名)

②在宅医療・介護連携支援センター事業の推進

【地域包括ケア推進課】

在宅医療・介護連携支援センターは、医療・介護の両方を必要とする高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最期まで続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供するために必要な支援体制の構築に向けて設置されています。

令和 2 年度から質の高い在宅医療提供体制の構築を目指し、島根県の「医療連携コーディネーター設置事業」を松江市医師会から受託し、在宅医療・介護連携支援センターに医療連携コーディネーターを配置しました。医師会との連携が強化され、医師会の医療連携担当医師と相談しながら事業を進めました。

◆地域の医療・介護資源の把握

○市内のすべての施設 148 か所、訪問リハビリテーション 14 か所、通所リハビリテーション 13 か所に対して、医療的ケア(インシュリン注射、喀痰吸引、経管栄養、在宅酸素療法、膀胱カテーテル等)や食事形態の対応状況、身寄りのない方の受け入れ状況等について調査を行い、把握した情報を一覧にし、社協ホームページに掲載しました。

○医療連携推進コーディネーターの取り組みとして、松江市医師会在宅医療・介護保険委員会の医師 13 名に在宅医療・介護連携についてヒアリングを行い、さらにヒアリング結果をもとに松江市医師会在宅医にアンケート調査を行いました（71 名回答。回答率 49%）。調査結果について、松江市医師会、松江保健所と協議を行い、ICT 活用や在宅看取りの課題を明らかにすることが出来ました。課題についての取り組みについては、次年度検討する予定としております。

◆医療・介護関係者の情報共有の支援

○松江市内すべての病院の地域連携担当者が集まる病病連携推進会議の開催や、病院の医師・看護師・在宅医・訪問看護師・介護支援専門員・薬剤師等の多職種に参加いただき、看取り（アドバンス・ケア・プランニング）についての事例検討会（年３回）を医師会医師と共に主催することで、多職種連携による情報共有の支援を行いました。また各専門職の課題、取り組み状況等について、広報誌「RENKEI」を年２回発行し、お知らせしました。

○救急搬送時の課題に対応するため、松江市と共に市内の関係機関に松江市作成「救急医療情報」の更新の周知を行いました。また、松江市消防本部と連携し、松江市内の高齢者施設が救急時に使用する「救急車利用チェックシート」を利用していない施設に訪問し「救急車利用チェックシート」の説明を行うことで利用を促しました。

○当センターホームページ内「まつえの ACP」ページに「まつえアドバンス・ケア・プランニング普及・啓発協議会」の取り組み状況や活動報告を行い、さらに今年度新たに作成しました普及・啓発動画を関係各所に周知することで、アドバンス・ケア・プランニングの普及・啓発に取り組みました。

◆在宅医療・介護連携に関する相談支援

○医療・介護関係者等からの、在宅療養や資源、連携に関する相談を受け付け、医療介護関係者が必要な資源の周知、相談から医療介護に関する課題の把握を行いました。

◆相談内容

内容	在宅療養 支援	医師との 連携	介護との 連携	病院の 入退院支援	施設の 入所支援	医療・介護 資源	その他	合計
R7	3	0	2	3	1	10	6	25
R6	4	6	0	4	0	6	8	28
R5	9	8	6	4	0	9	19	55
R4	13	9	5	8	1	21	22	79

◆相談経路

相談者	ケアマネ	医師	病院	訪問看護	歯科	薬剤師	PT OT ST	サ ー ビ ス 事 業 所	行政	市民	包括	その他	合計
R7	6	0	6	2	1	1	0	0	1	3	1	4	25
R6	5	1	3	1	0	1	1	0	2	3	6	5	28
R5	6	3	11	5	0	0	0	0	5	1	6	18	55
R4	9	3	20	5	0	2	0	4	2	3	17	14	79

◆医療・介護関係者の研修

- 市内各団体が開催する研修について、ホームページ上に「研修カレンダー」を作成、月 2 回更新し、関係者に研修情報を提供しました。また、松江市在宅医療・介護連携支援センターの公式 LINE にて、研修会情報や医療・介護連携に役立つ情報の周知を行いました（登録者 168 人）。
- 当センターが事務局を担当する「まっえアドバンス・ケア・プランニング普及・啓発協議会」主催の研修会を実施しました。テーマを「松江市内医療・介護関係者の ACP 取り組み」とし、医療側：しまねリハビリテーションネットワーク 濱田 龍 氏、福祉・介護側：松江市社会福祉協議会 阿川 愛悠美 氏を講師に迎え開催しました（参加者：48 名）。
- 松江地域介護支援専門員協会、松江保健所と共催で、難病に関する研修会を実施しました。「パーキンソン病患者の治療や支援について学ぼう！」をテーマに、松江医療センター院長の古和久典先生を講師に迎え、パーキンソン病患者の薬物療法やリハビリテーション、本人・家族の支援等について、実際の診療での関わりも交えてご講演いただき日々のパーキンソン病患者のケアについて学びを深める機会となりました（参加者：69 人）。
- 終括支援ノートの活用や在宅医療・介護についての講座を松江市内の各地域で開催しました（20 か所 595 人）。

③生活支援コーディネーター設置事業

【地域福祉課】

令和元年度より CSW（生活支援コーディネーター）を各包括支援センター（サテライトを除く）内に配置して、住民により身近な拠点で活動を行っています。

ア）地域の生活課題の把握から新たな取り組みの展開

「2 地域福祉及び連携調整の強化 2-(2)地域福祉の推進 ①コミュニティソーシャルワークの展開」の活動内容をご覧ください。

また地区社協事業をはじめ、なごやか寄り合いなどに出かけ、実態の把握に努めました。

イ）ネットワークづくり

地域の生活課題の検討や住民の主体的な取り組みによる解決を図るため、平成 30 年度末に市内 29 地区を単位に「第 2 層協議体」を立ち上げました。地区地域福祉活動計画策定と進捗管理の会議を第 2 層協議体に充てている地区が多く、令和 7 年度は第 6 次地区地域福祉活動計画や地区社協事業の実施について話し合いました。

ウ）住民主体の生活支援サービスの開発

地域の生活課題からあげられた移送支援(住民主体型)の立ち上げについて、『地域助け合いによる外出支援を考えるセミナー』を開催し、地区に働きかけをしました。また、これまで地域住民が主体となり実施されている各地の居場所づくり活動においても、後方支援しました。

・地域助け合いによる外出支援を考えるセミナー

開催日 令和 7 年 12 月 5 日

場 所 島根県民会館大会議室

内 容 活動報告 美保関 菅浦手助す一隊 代表 小林邦彦氏

松江市第1層生活支援コーディネーター 渡部 潤

講演「住み慣れた地域で暮らし続けるために」

～地域助け合いによる外出支援活動について～

講師 特定非営利活動法人全国移動サービスネットワーク

副理事長 河崎 民子 氏

参加者 地域住民、地区社協、公民館、自治会町内会、民生児童委員、生活支援サービス
実施法人、市・県担当者、地域包括支援センター等 78名

エ) サービスの担い手確保

令和7年10月18日に令和7年度くらし安心サポートセミナーを実施し、8名が受講され、内7名が地域の支え合い活動の担い手として登録されました。

訪問型サービスA（基準緩和型サービス）へ従事していただくことを目的に、第1回目

（10月28日・10月29日・10月30日）、2回目（3月3日・3月4日・3月5日）に

令和7年度松江市総合事業訪問型サービス従事者養成研修を開催しました。合計14名が受講をされ、内12名に対し松江市より修了証が授与されました。

◆生活支援コーディネーターの動き

活動の項目	件数
住民型サービスへの支援	51件
協議体の運営	161件
人材育成	303件
啓発	112件

④認知症地域支援推進事業

【総務課】【地域包括ケア推進課】

ア) 支援者づくり・まちづくり

○徘徊SOS見守りネットワークの強化

市内の協力事業所や民生児童委員、地区社協関係者等に、高齢者の見守り協力の依頼をし、認知症の理解や対応についてSOS見守りネットワーク協力者登録チラシの配布をしました。

◆認知症見守りネットワーク

年度	登録者数(利用者)	登録者数(協力者)	協力事業所数	稼働回数
R7年度	544人	1,576人	424事業所	5回
R6年度	497人	1,518人	368事業所	3回
R5年度	437人	1,479人	367事業所	3回

⑤介護者の支援

【地域福祉課】

ア) 男性介護者フリースペース

仕事と介護の両立や慣れない家事などで苦勞が多く、地域で孤立しがちな男性介護者の支援として、平成 21 年度から男性介護者の集いを開催しています。気軽に立ち寄り、日頃の悩みや介護について男性介護者同士で語り合える「フリースペース」の形式は維持しながら、男性介護者が参加しやすいよう毎月テーマを決めて開催しました。

- 日 時 毎月第 3 金曜日 10:00～12:00
- 会 場 松江市総合福祉センター3 階教養室
- 相談対応 地域包括支援センター、地域福祉係

開催月	テーマ（講師）	参加人数
4 月	茶話会（今年度について）	2
5 月	茶話会	4
6 月	介護のお役立ち情報	3
7 月	高齢者施設見学	4
8 月	茶話会	2
9 月	珈琲焙煎体験	3
10 月	福祉用具について	1
11 月	オトコの料理教室	5
12 月	茶話会	3
1 月	健康づくり	4
2 月	もしばなゲームをやってみよう！	4
3 月	茶話会（来年度に向けて）	3
計		38 人

イ) 家族介護者交流会

在宅で介護をしている家族介護者が介護者相互の交流会や研修・講座への参加を通して、気分転換し元気回復を図ることを目的に、以下の内容で実施しました。

事業名等	内 容
第 1 回	●日 時 令和 7 年 9 月 3 日（火）10:00～11:30 - 会 場 松江市総合福祉センター4 階 教養室 - 参加者 12 名 - 内 容 講座「介護にまつわるストレスマネジメント講座」 介護者交流会
第 2 回	●日 時 令和 8 年 3 月 10 日（火）10:00～11:45 - 会 場 松江市総合福祉センター3 階 教養室

事業名等	内 容
	参加者 13 名 内 容 講座「松江藩ちやのゆの学校」 介護者交流会

4-(2) 各種貸付相談

【生活支援課】

島根県社会福祉協議会が実施する生活福祉資金貸付制度の受付相談と、自主事業として低所得世帯に対し、緊急的に必要な資金を貸付する民生融金貸付事業を行いました。

◆相談件数

年度	相談件数
R7 年度	662 件
R6 年度	656 件
R5 年度	637 件

◆月別相談件数

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
件数	53	34	49	54	32	67	65	67	53	65	59	64	662

①生活福祉資金の貸付

低所得世帯、障がい者世帯、高齢者世帯を中心に貸付及び援助指導を民生児童委員の協力を得て行いました。また、母子福祉資金等、他制度との連携も図り適切な事業の実施に努めました。

◆生活福祉資金貸付実績

年度	貸付件数	貸付金額
R7 年度	43 件	19,461,880 円
R6 年度	72 件	45,571,000 円
R5 年度	82 件	51,276,092 円

◆生活福祉資金 資金内訳（43 件）

■生活支援費（7 件） ■一時生活再建費（2 件） ■福祉費（11 件）
■緊急小口資金（5 件） ■教育支援費（7 件） ■就学支度費（11 件）

◆生活福祉資金貸付件数（性別・年代別延べ件数）

	19 歳以下	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳代	90 歳代	計
男性	7	6	5	4	5	1	1	0	0	29
女性	4	1	1	0	5	2	0	1	0	14

合計	11	7	6	4	10	3	1	1	0	43
----	----	---	---	---	----	---	---	---	---	----

◆新型コロナウイルス特例貸付制度貸付・償還免除・償還完了の状況

緊急貸付		件数	金額
緊急小口	貸付	2,898 件	536,210,000 円
	償還免除	23 件	3,439,927 円
	償還完了	106 件	20,210,000 円
総合・初回	貸付	899 件	397,489,000 円
	償還免除	16 件	5,568,230 円
	償還完了	16 件	6,882,000 円
総合・延長	貸付	301 件	131,632,000 円
	償還免除	11 件	4,616,750 円
	償還完了	13 件	5,255,000 円
総合・再貸付	貸付	321 件	134,805,000 円
	償還免除	16 件	6,165,000 円
	償還完了	11 件	4,500,000 円

※貸付期間 令和2年3月～令和4年9月

② 民生融金の貸付

低所得世帯に対し緊急的に必要な資金として、民生児童委員の協力により1件5万円以内で貸付を行いました。

◆民生融金貸付実績

年度	貸付件数	貸付金額
R7 年度	49 件	582,000 円
R6 年度	55 件	791,000 円
R5 年度	35 件	725,000 円

◆民生融金貸付件数（性別・年代別延べ件数）

	19 歳 以下	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 代	80 歳 代	90 歳 代	計
男性	0	1	2	8	14	7	4	4	0	40
女性	0	0	0	0	4	1	1	3	0	9
合計	0	1	2	8	18	8	5	7	0	49

4-(3) 福祉サービス

①福祉サービスの実施

【地域福祉課】

ア) 住民参加型在宅福祉サービス事業の推進（ゆうあいヘルプサービス）

高齢化の進行や社会の変化に伴い、多様化する福祉ニーズに対応するため、住民主体による住民同士の助け合いを基本とした住民参加型ヘルプサービスを展開することにより、在宅生活の安定と福祉の増進を図ることを目的に事業を実施しました。

また、松江市が実施する介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）における、住民主体サービスである訪問型サービス B も実施しました。

◆ゆうあいヘルプサービス事業の状況

年度	R7 年度	R6 年度	R5 年度
利用会員	94 人	105 人	97 人
協力会員	39 人	44 人	44 人

◆ゆうあいヘルプサービス実績（1 時間単位のサービス時間を設定）

項目	R7 年度	R6 年度	R5 年度
利用回数（家事）	1269 回	1,372 回	1,459 回
利用時間（家事）	1,369 時間	1,633 時間	1,812 時間
利用回数（介護）	856 回	828 回	716 回
利用時間（介護）	1,194 時間	1,284 時間	1,183 時間
利用回数（訪問 B）	76 回	104 回	131 回
利用時間（訪問 B）	69 時間	104 時間	127 時間
利用回数(計)	2,201 回	2,304 回	2,306 回
利用時間(計)	2,632 時間	3,021 時間	3,122 時間

5. 公的福祉サービス受託事業の推進

5-1) なごやか寄り合い事業

【地域福祉課】

長年住み慣れた地域での生活を継続できることを目的とした「なごやか寄り合い事業」の立ち上げと、円滑な継続運営に向けた取り組みに対して支援を行いました。

◆なごやか寄り合い事業実施状況

年度	実施会場数	実施回数	参加者延人数
R7 年度	351 カ所	2,468 回	29,321 人
R6 年度	357 カ所	2,782 回	32,032 人
R5 年度	331 カ所	2,523 回	29,033 人

◆公民館区ごとの実施状況

地区名	会場数	回数	地区名	会場数	回数
城西	8	19	古江	7	35
城東	4	22	生馬	11	39

地区名	会場数	回数	地区名	会場数	回数
城北	3	16	鹿島	11	110
白潟	9	53	法吉	12	69
雑賀	6	46	津田	10	66
朝日	9	55	竹矢	11	59
朝酌	9	26	大庭	18	122
持田	12	96	古志原	14	127
本庄	14	57	八雲	16	124
川津	12	112	乃木	18	124
美保関	18	179	忌部	15	56
八束	8	31	玉湯	16	77
島根	18	166	宍道	19	161
大野	8	43	東出雲	23	324
秋鹿	12	54	合計	351	2,468

ア) 継続支援、立ち上げ支援

前年度からの継続実施会場からの相談対応、新規会場の立ち上げ支援およびボランティア行事用保険手続き・物品支給の対応をしました。また、福祉推進員・民生児童委員・自治会等において、本事業に関する相談対応・情報提供を随時行いました。

◆継続支援、立ち上げ支援の状況

立ち上げ相談・説明会・支援	8 地区（42 件）
立ち上げボランティア行事用保険	5 会場（23 件 ※約 460 名分）
物品提供	3 会場（6 件）
継続支援	29 地区（189 件）

イ) 「なごやか寄り合い事業」ボランティアスタッフ研修会の開催

◆全体研修会の開催

なごやか寄り合いボランティア（世話人）の方を対象に、事業を実施する上での知識やヒントを得て今後に役立てていただくため、「なごやか寄り合い事業世話人全体研修会（出前講座見本市）」を開催しました。趣味・特技を活かしたボランティアや企業、関係団体の出展を募り、なごやか寄り合いで実施可能な活動や講座の紹介等、情報提供・デモンストレーションを実施しました。

◦日 時 令和 7 年 12 月 9 日（火）13:30～15:50

◦場 所 松江市総合福祉センター 4 階 大ホールほか

◦参加者 85 名

◦内 容 8 つの出展団体による出前講座の紹介やデモンストレーションを実施。

①14:00～ ②14:40～ ③15:20～の3回に分けて行った。

令和7年度企画「なごやか川柳コンテスト」の選考結果発表と表彰式を開催

出展団体（内容）と参加人数（人）

団体名	内容	①	②	③
地域包括支援センター	食からはじまるフレイル予防	19	5	3
ニューススポーツ体験	ニューススポーツ体験	32		
しまねリハビリテーションネットワーク	リハ職派遣事業	13	14	0
趣味・特技を活かしたボランティア	ウクレレ弾き語り	21	11	10
島根県レクリエーション協会	身近なものでレクリエーション	12	14	14
趣味・特技を活かしたボランティア	おはなし・わらべ歌	33		
松江市消費・生活相談室	消費生活相談員による出前講座	未集計		
ソフトバンク	スマサポ号による高齢者スマホ教室	35		

◆ブロック研修会の開催

なごやか寄り合いボランティア（世話人）がお互いの経験や知識に加え、各地区で工夫している点などを共有し、なごやか寄り合いの充実を目指すことを目的に研修会を開催しました。研修会では、グループワークを通じてボランティア（世話人）同士が活発に意見交換を行いました。

◦日 時 令和7年10月6日（月） 13:30～15:30 ※橋北ブロック

令和7年10月7日（火） 10:00～12:00 ※橋南ブロック

◦場 所 松江市総合福祉センター 4階 大ホール、4階 教養室

◦参加者 橋北ブロック：55名、橋南ブロック：40名

◦内 容 関係機関より情報提供

なごやか寄り合い世話人意見交換

日頃の活動状況や悩みなど、世話人同士が自由に意見交換を行いました。活動のヒントにいただいたという声も多く聞かれました。

◆なごやか寄り合いの魅力を再発見する企画「なごやか川柳コンテスト」を実施

なごやか寄り合いをテーマにした、川柳コンテストを開催しました。川柳を通じて『なごやか寄り合い』の魅力を再発見し、参加者や世話人、関係者が一体となって盛り上げる機会になりました。

◦応募期間 令和7年8月1日～令和7年10月31日

◦選考期間 令和7年11月1日～令和7年11月30日

◦結果発表 令和7年12月9日※なごやか寄り合い全体研修会と合わせて開催

◦応募者数：51人 応募総数：133作品

5-(2) 松江市くらし相談支援センターの運営

【生活支援課】

生活困窮者等の生活相談に応じ、必要な情報提供や相談支援を行うとともに、法テラスやハローワーク等の関係機関と連携を図りながら自立相談支援業務を行いました。また、新型コロナウイルス特例貸付金償還免除や償還猶予、必要に応じて自宅訪問（アウトリーチ）を行い返済等に関する相談を受け、自立に向けた支援に取組みました。

また、複合的多問題を抱えた世帯への支援だけではなく、地域社会からの孤立・孤独化を防ぐために、当事者からの地域へ向けた発信、発言の場づくり、各地区民児協定例会へ出席し事業の啓発活動を行い、社会全体で寄り添い続ける仕組みづくりにも取り組みました。

◆相談人数

年度	新規相談者実人数
R7 年度	511 人
R6 年度	552 人
R5 年度	474 人

◆月別相談人数

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
件数	42	28	38	81	63	52	40	32	25	30	37	43

◆主な相談内容と支援内容（重複あり）

相談内容	人数（％）	年齢別	
病気・健康	68 人（ 7.8%）	10 代	3 人（ 0.6%）
住まい	115 人（13.2%）	20 代	40 人（ 7.8%）
収入・生活費	216 人（24.7%）	30 代	57 人（11.2%）
家賃やローン	74 人（ 8.5%）	40 代	84 人（16.4%）
税金・公共料金支払	40 人（ 4.6%）	50 代	85 人（16.6%）
債務	66 人（ 7.6%）	60 代	55 人（10.8%）
仕事探し・就職	54 人（ 6.2%）	70 代	42 人（8.2%）
仕事上の不安・トラブル	8 人（ 0.9%）	80 代以上	20 人（ 3.9%）
地域との関係	3 人（ 0.3%）	不明	125 人（24.5%）
家族との関係	26 人（ 3%）		
子育てのこと	9 人（ 1%）	性別等	
介護のこと	8 人（ 0.9%）	男性	267 人（52.3%）
引きこもり・不登校	1 人（ 0.1%）	女性	220 人（43.1%）
DV・虐待	2 人（ 0.2%）	夫婦	
食べるものがない	68 人（ 7.8%）	不明	24 人（ 4.7%）

その他	116 人 (13.2%)
-----	----------------

区分	支援内容	人数
制度利用	住宅確保給付金	12 人
	居住支援事業（シェルター）	6 人
	居住支援事業（ホテル泊）	4 人
	家計相談支援事業	22 人
	就労準備支援事業（プラン未作成者含む）	46 人
	被保護者就労準備支援事業（延べ人数）	40 人
	被保護者就労準備支援事業（実人数）	12 人
	入居債務保証（新規）	20 人
	生活福祉資金	13 人
	民生融金	7 人
	社協独自のシェルター事業	3 人
	フードバンク	329 人
	就労自立促進事業	20 人
	自立相談就労支援	24 人
他機関への引継ぎ ・ 同行	ハローワーク同行・連絡調整	179 人
	法テラス・弁護士	113 人
	サポートステーション絆	29 人
	地域包括支援センター	328 人
	不動産・大家・公社	87 人
	病院	103 人
	市関係機関	610 人

◆地域住民・関係機関等への啓発活動

- ・各地区民児協定例会へ出席し事業 PR を行いました。（22 地区/29 地区）

	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	2 月	合計
地区名	宍道	玉湯 忌部 乃木	古江 秋鹿 法吉 鹿島 生馬	朝酌 川津 島根 持田 大庭	本庄 白潟 美保関 朝日	八雲 八束 竹矢	—	大野	津田	23 地区

- ・利用者（当事者）からの地域に向けた発信、発言の場づくり

利用者（43 歳・女性）が 7 月 15 日、くらし相談支援センター定例会に参加し、相談に至っ

た経緯、相談後の生活の変化について、担当の相談員と一緒に発表しました。

(※地域福祉課職員：4名参加)

①生活困窮者支援に対する理解促進

◆くらし相談支援センターの広報・啓発

- ・機関紙「ほっとスペース」を2回（夏号・冬号）発行しました（800部×2回配布）。
- ・公式LINE、登録者約170人に向けて生活に役立つ情報配信を行いました。

配信月	公式LINE配信内容
4月	くらし相談支援センター事業紹介／家庭のネタ帳の紹介
	家計のネタ帳の紹介
5月	就労準備講座のお知らせ
6月	就労準備支援事業（アシストの紹介）
7月	教育支援資金のお知らせ
8月	機関誌「ほっとスペース」発行のお知らせ
9月	就労準備講座のお知らせ
10月	チャリティーサンタのお知らせ
11月	ひとり親家庭等のためのワンストップ相談会のお知らせ
	親子で！柿の収穫体験のお知らせ
1月	教育支援資金のお知らせ
2月	就労準備講座のお知らせ③
3月	松江市社会福祉協議会HPリニューアルのお知らせ

②就労に向けた支援の実施

◆就労準備講座及びプレ就労準備講座の実施

就労によって増収を図り、生活困窮状態を改善することを目指した支援を行いました。

長い就労ブランクや、コミュニケーションに不安があるなど、すぐに一般的な就労に結びつかない相談者支援のために、「就労準備講座」と「プレ就労準備講座（Assist!!～みんなのフリースペース～）」を開催しました。

また、ひとり親世帯を中心に「体験・地域との連携づくり」を目的として、宍道町にある柿農園の協力により、11月22日に「柿の収穫体験」を行いました。親子2世帯7人の参加がありました。

【就労準備講座】（開催場所：松江市総合福祉センター）

開催日	内容	参加者数(生保受給者数)
6月3日	体操教室	参加者数3人(2人)
6月4日	パステルアート	参加者数2人(1人)

開催日	内容	参加者数(生保受給者数)
6月11日	コミュニケーション講座	参加者数 3 人 (2 人)
6月18日	ビジネスマナー	参加者数 3 人 (2 人)
7月4日	料理教室	参加者数 5 人 (3 人)
10月1日	体操教室	参加者数 4 人 (1 人)
10月8日	パステルアート	参加者数 5 人 (3 人)
10月15日	コミュニケーション講座	参加者数 2 人 (0 人)
10月22日	ビジネスマナー	参加者数 3 人 (0 人)
10月31日	料理教室	参加者数 2 人 (1 人)
2月4日	体操教室	参加者数 3 人 (2 人)
2月10日	パステルアート	参加者数 1 人 (1 人)
2月20日	コミュニケーション講座	参加者数 1 人 (1 人)
2月25日	ビジネスマナー	参加者数 2 人 (1 人)
3月6日	料理教室	参加者数 2 人 (1 人)

【プレ就労準備講座 (Assist!!～みんなのフリースペース～)】

(開催場所：松江市総合福祉センター)

開催日	内容	参加者数(生保受給者数)
5月8日	野菜の苗植え (プランター栽培)	参加者数 6 人 (4 人)
7月10日	マープリング	参加者数 6 人 (4 人)
8月7日	夏まつり (そうめん流しなど)	参加者数 6 人 (3 人)
9月11日	e スポーツ	参加者数 4 人 (3 人)
11月13日	ゴズ釣り	参加者数 3 人 (0 人)
12月11日	しめ縄作り	参加者数 4 人 (1 人)
1月8日	書初め	参加者数 3 人 (0 人)
3月12日	春のお茶会	参加者数 3 人 (1 人)

③フードバンク事業

【総務課・生活支援課】

くらし相談支援センターでの相談者をはじめ、社協貸付相談、地域包括支援センター、福祉事務所などからの相談に応じて、緊急的対応としてフードを提供しました。

◆提供者数

項目	実利用者	延べ利用者	1人あたり回数
R7年度	147人	340人	2.31回

R6 年度	169 人	280 人	1.65 回
R5 年度	155 人	306 人	1.97 回

◆ひとり一品運動

生活困窮者へのフード提供や生活困窮世帯、物価高騰等の影響を受けて生活費の負担が増えた「ひとり親世帯」等を支援するために、「ひとり一品運動」を10月末から11月にかけて実施しました。お米・缶詰・乾麺・インスタント食品、日用品等の寄贈を広く市民に呼びかけ、多く品物を寄贈いただきました。

○寄付件数

寄付者数（個人・団体）229 件 数量 10,090 点

◆ひとり親世帯等への食料・日用品の提供

ひとり一品運動で寄付をいただいた物品を利用し、「ひとり親世帯」を中心とした生活困窮世帯への支援を行いました。

開催日	提供世帯数	提供品	備考
6 月 24 日～ 30 日	128 世帯	食品(米、インスタント食品、お菓子等)日用品	期間中随時 受け取り

⑤「助っ人弁護士制度」（法テラス島根との連携）

【生活支援課】

法テラス島根と連携して、法テラススタッフ弁護士による情報提供や法律相談を行い、司法と福祉の連携を図りました。

開催日：毎月第2・第4水曜日（午前）

◆助っ人弁護士制度の実績

年 度	方法	件 数
R7 年度	面談での法律相談・情報提供	41 件
R6 年度	面談での法律相談・情報提供	52 件
R5 年度	面談での法律相談・情報提供	59 件

5-(3) 高齢者あんしんサポート事業

【生活支援課】

身寄りのない高齢者を支援する「高齢者あんしんサポート事業」を実施しました（契約総件数4件）。

◆契約件数

年 度	新規契約件数
R7 年度	0 件
R6 年度	1 件

R5 年度	0 件
-------	-----

◆相談ケースについて

相談件数	11 件
内契約に向け継続相談件数	2 件

◆契約締結審査会

新規契約の審査 1 回開催

◆視察対応

期 日	視察受入先	人 数
7 月 7 日(月)	特定非営利活動法人まちの相談室（滋賀県東近江市）	7 人
9 月 11 日(木)	倉吉市社会福祉協議会（鳥取県倉吉市）	8 人
9 月 18 日(木)	長洲町社会福祉協議会（熊本県玉名郡長洲町）	3 人
10 月 15 日(水)	丹波市社会福祉協議会・丹波市（兵庫県丹波市）	10 人
11 月 14 日(金)	山口県社会福祉協議会（山口県山口市）	2 人

◆講演依頼

期 日	主催団体・研修名	参加人数
11 月 19 日	松江市医師会 「人生会議、ACP」事例検討会	46 人

5-(4) 松江市権利擁護推進センターの運営

【生活支援課】

松江市権利擁護推進センターは、成年後見制度が社会全体で支える仕組みとなるよう、市民、行政、関係機関と連携し、広報啓発業務、総合相談業務、利用促進業務、後見人等支援業務および地域連携ネットワークの構築等の各種業務を推進し取り組みを行いました。また、成年後見制度が『その人らしい生き方』を社会全体で支える身近な制度となるよう、広報啓発や人材育成を目的として、権利擁護サポーター養成講座や市民後見人等養成講座にも力を入れて取り組みました。

①相談受付業務

成年後見制度に関する相談だけではなく、日常生活自立支援事業など広く総合的に権利擁護に関する相談支援機関として、市民の皆様に寄り添った対応を行いました。また、関係機関との連携を図りながら、支援が必要な方に対して迅速に対応し、支援につなげました。

◆相談実績

年 度	新規相談件数（実数）	相談支援回数（延数）
R7 年度	194 件	309 回
R6 年度	165 件	276 回

R5 年度	208 件	319 回
-------	-------	-------

◆新規相談における対象者の分類（重複あり）

分類 年度	認知症	知的障がい	精神障がい	身体障がい	高次脳機能障がい	発達障がい	その他	不明	計
R7 年度	54	32	22	1	5	5	22	56	197
R6 年度	57	22	26	3	3	1	26	29	167
R5 年度	76	32	24	8	2	2	24	44	212

◆主な相談内容（重複あり）一部抜粋

相談内容	件 数	継続支援件数	延件数
成年後見制度の相談	91 件	6 件	108 件
成年後見申立て支援	17 件	4 件	27 件
日常生活自立支援事業	43 件	0 件	45 件
財産管理	11 件	1 件	16 件
金銭管理	12 件	1 件	14 件
相続・遺言	11 件	0 件	10 件
高齢者あんしんサポート事業	10 件	0 件	12 件
財産・資産	9 件	2 件	13 件
任意後見	7 件	0 件	7 件
その他	11 件	3 件	17 件

②利用促進業務

成年後見制度を必要とするご本人の状況や課題に応じて、適切な後見人等を選任するための受任者調整を行いました。また、制度利用の促進に向けた担い手育成事業を実施しました。

ア) 受任者の調整

松江市権利擁護推進センターでは、本人がメリットを感じることができるよう、専門職（弁護士会・司法書士会・社会福祉士会、松江後見センター）で構成する「受任者調整会議」によって、適切な受任者の調整を行いました。

◆受任者調整件数および受任者調整会議開催回数

年 度	受任者調整件数	受任者調整会議
R7 年度	26 件	16 回
R6 年度	28 件	17 回
R5 年度	38 件	20 回

◆受任者調整結果

年度 候補者 選出団体	弁護士会	司法書士会	社会福祉士会	松江後見セン ター（個人）	松江後見セン ター（法人）	松江市社協 （法人後見）	松江市社協 （市民後見）	複数保佐人 （※1）	計
R7 年度	3 件	4 件	7 件	11 件	1 件	0 件	0 件	0 件	26 件
R6 年度	5 件	6 件	7 件	6 件	1 件	2 件	1 件	0 件	28 件
R5 年度	9 件	5 件	6 件	11 件	1 件	3 件	3 件	0 件	38 件

イ) 担い手育成

成年後見制度の利用を必要とする方の増加に伴い、後見人等の不足が見込まれる状況があります。松江市権利擁護推進センターでは、ご本人に寄り添い、より身近なかたちで支援を行うことができる市民後見人をひとりでも多く養成するため、市民後見人等養成講座を開催しました。

◆令和 7 年度松江市市民後見人等養成講座【基礎編】 修了者 21 人

開催日	時 間	内 容
【1 日目】 8 月 23 日（土）	9:30~15:50	「権利擁護支援とそれを実現するための制度・事業について学ぶ」
【2 日目】 8 月 30 日（土）	9:30~16:00	「権利擁護支援を必要とする人の特性と支援制度について学ぶ」
【3 日目】 9 月 6 日（土）	9:30~15:30	「いつまでも自分らしく安心して暮らすために役立つ知識について学ぶ」

◆令和 7 年度松江市市民後見人等養成講座【実務編】 修了者 17 人

開催日	時 間	内 容
【1 日目】 11 月 8 日（土）	9:30~15:10	・松江市の権利擁護施策 ・成年後見制度の復習（任意後見契約概説を含む） ・任意後見契約について ・当事者の声を聞く
【2 日目】 11 月 22 日（土）	9:30~15:50	・成年後見制度の実務 1（申立書類の作成） ・成年後見の実務 2（市民後見人になったら） ・成年後見の実務 3（財産管理など）
【3 日目】 12 月 6 日（土）	9:30~15:20	・成年後見の実務 4 （身上監護とは・後見人等実務における意思決定支援のポイントについて） ・成年後見の実務 5（家庭裁判所への報告） ・成年後見の実務 6（後見事務の終了） ・成年後見等実務に関する Q&A

開催日	時 間	内 容
		・ 市民後見人活動報告
【実習】 11 月 10 日～ 12 月 12 日	平日約 3 時間	・ 日常生活自立支援事業の支援同行

※レポート作成（A4 用紙 1 枚程度）

テーマ①「体験実習レポート」 テーマ②「わたしが思い描く市民後見人像」

◆松江市市民後見人等養成事業の推移

市民後見人候補者バンク運営基準を満たした方にバンク登録の声かけをさせて頂き、令和 7 年度は新たに 7 人の方が登録されました。令和 7 年度は、市民後見人のうち 1 人について被後見人の死亡により職務を終了されました。また、松江市社協法人後見が担当しているケースで、市民後見人へのリレーが実現し、令和 7 年度末時点において活動中の市民後見人は 7 人となりました。

（単位：人）

内 容 （累計）	R3	R4	R5	R6	R7
基礎講座修了者	181	202	228	255	271
実務講座修了者	77	82	105	124	136
生活支援員登録者	47	62	74	73	80
生活支援員活動者	30	39	30	36	37
法人後見支援員登録者	7	13	16	15	16
法人後見支援員活動者	5	12	15	15	8
市民後見人候補者バンク登録者数	15	19	21	21	35
市民後見人受任者数	5	5	7	7	7

③後見人等支援業務

後見人等からの相談に応じるとともに、必要に応じて本人に身近な親族、福祉・医療・地域等の関係者によるチーム作りを支援することにより、後見人等を孤立させない支援体制を整備しました。

◆後見人等への引継ぎ

受任者調整会議を経て後見人等が決定した後に、後見人等が本人や親族、支援関係者と顔合わせや貴重品等の引継ぎを行うための会を随時開催しました。後見人等が、本人支援のための既存のチームにスムーズに合流し、後見業務を円滑にスタートさせることができるようにするため、ご本人の想いや課題等を整理して後見人へ伝えるなどの初動支援を丁寧に行いました。

◆支援チーム会議

支援困難なケースやチームが未形成のケースについては、必要に応じて後見人等と本人、親族、

支援関係者などを集めた支援チーム会議を開催し、本人支援のためのチーム作りとチームの自立を支援しました。

年 度	後見人支援チーム会議	延べ参加人数
R7 年度	31 回	214 名
R6 年度	31 回	217 名
R5 年度	51 回	298 名

◆親族後見人等意見交換会

事業名	内 容
親族後見人さんのつどい (親族後見人等意見交換会)	●日 時 令和 7 年 12 月 15 日 (月) 14:00～15:30 会 場 松江市総合福祉センター 4 階 教養室 参加者 10 名 趣 旨 ・親族後見人が抱えている悩み・ニーズをキャッチする。 ・親族後見人が気軽に立ち寄ることができ、また親族後見人同士で情報交換を行える場をつくる。 ・親族後見人が孤立しないように支え、ご本人の権利擁護の視点にたった後見活動と一緒に考え推進していく。 内 容 自己紹介、弁護士からの講話、フリートーク (悩みの共有、制度や後見実務に関する質問など) アドバイザー 法テラス島根法律事務所 弁護士 加藤 大介 氏

◆権利擁護従事者意見交換会

事業名	内 容
権利擁護支援者交流会	●日 時 令和 8 年 2 月 27 日 (金) 15:00～16:30 会 場 松江市総合福祉センター 4 階 教養室 参加者 16 名 趣 旨 松江市内で地域の権利擁護支援活動に携わる市民後見人、日常生活自立支援事業の生活支援員、法人後見の支援員などの方々を対象として、日頃の活動に関する意見交換会や永年活動者への感謝状の贈呈式などを行うことで、今後の活動のための手がかりの発見やモチベーションの向上につなげる。

④広報・啓発業務

市民の皆様に松江市権利擁護推進センターの役割を知っていただくため、広報活動を行いました。

また、成年後見制度の理解と利用促進が図られるよう、市民の皆様を対象とする公開講座や、地域に出向いての出前講座などを開催しました。専門職や関係機関に対しても、啓発および情報

提供を行いました。

ア) 広報・啓発用ツールの作成

- ・社協だより（7月、9月、11月、3月号掲載）「成年後見制度講演会や市民後見人等養成講座の開催案内など」
- ・機関紙「まもる」第8号（1,500部）および第9号（1,500部）の作成

イ) 成年後見制度啓発ビデオの貸出及び上映

令和3年度に作成した成年後見制度啓発ビデオ「つばきさんの一生～つばきさんと成年後見制度～」は、令和7年度も地域の出前講座などで活用し、市民の皆様や関係機関等への貸し出しも行いました。また、令和6年度に引き続いて松江赤十字病院においてビデオを上映していただいております、ビデオで成年後見制度と当センターのことを知ったという市民の方からのご相談も増えてきています。

ウ) 成年後見制度講演会・法と福祉のなんでも相談会の開催

成年後見制度の理解と周知を目的として、「ご存知ですか？成年後見制度～大切な人の生活と財産を守るための制度です～」をテーマに、成年後見制度の制度説明や具体的な活動内容等の講演会及び相談会を開催しました。

あわせて、島根県弁護士会・法テラス島根法律事務所・地域包括支援センター共催による、「法と福祉のなんでも相談会」を同日開催しました。

◆成年後見制度講演会等

事業名等	内 容
成年後見制度講演会 (法と福祉のなんでも相談会)	●日 時 令和7年6月21日(土) 13:30～15:00 会 場 松江市総合福祉センター 4階 大ホール 参加者 講演会：70人、法と福祉のなんでも相談会：8人 内 容 【成年後見制度講演会】 「ご存知ですか？成年後見制度」 講師 法テラス島根法律事務所 弁護士 加藤 大介 氏 【なんでも相談会】 共催 島根県弁護士会、法テラス島根法律事務所、 地域包括支援センター

エ) 出前講座・研修会講師

成年後見制度が「その人らしい生き方を地域社会全体で支える身近なしくみ」として地域社会に正しく理解され受け入れられるためには、制度の前提となる「地域における権利擁護支援の意義」についても、市民の皆さまと共有することが大切だと考えています。地域の中で「権利擁護」を大切にしたい心を持つ人をひとりでも増やすことを目的として「まっえ権利擁護サポーター養成講座」を実施しました。また、成年後見制度に関する出前講座、研修会の依頼にも対応しました。

◆出前講座・研修会実施状況

事業名等	内 容
松江市市民後見人等養成講座【基礎編】内で実施	●日 時 令和 7 年 8 月 23 日（土） - 会 場 市総合福祉センター 4 階 教養室 - 演 題 まつえ権利擁護サポーター養成講座 - 参加者 24 名
在宅医療連携推進のための多職種連携会議	●日 時 令和 7 年 5 月 9 日（金） - 会 場 松江記念病院 - 演 題 権利擁護推進センターの紹介、成年後見制度について - 参加者 38 名
四ツ葉園保護者会総会	●日 時 令和 7 年 5 月 31 日（土） - 会 場 ホテル白鳥 - 演 題 成年後見制度について - 参加者 18 名
東出雲民生児童委員定例会 全体研修	●日 時 令和 7 年 6 月 26 日（木） - 会 場 ヨリアイーナ東出雲 - 演 題 地域の力を生かした権利擁護の実践 - 参加者 36 名
島根県社会福祉協議会生活支援部内研修	●日 時 令和 7 年 6 月 27 日（金） - 会 場 いきいきプラザ - 演 題 権利擁護推進センターの紹介 - 参加者 13 名
千鳥福祉会職員研修	●日 時 令和 7 年 10 月 21 日（火） - 会 場 社会福祉法人千鳥福祉会訓練等 2 階 - 演 題 K さんのケースから学ぶ権利擁護支援 - 参加者 20 名
松江市社会福祉協議会社会福祉士実習生に実施	●会 場 松江市総合福祉センター内 - 演 題 まつえ権利擁護サポーター養成講座 - 回 数 計 9 回 - 参加者 13 名

⑤地域連携ネットワークの構築

権利擁護推進センターでは、地域をはじめ、行政、司法、医療、そして各関係機関等との連携なくしては、適切な相談支援の実施は不可能であるとの実感を持っています。地域の権利擁護に

ついて意識を共有し、地域連携ネットワークの強化を図ることを目的に松江市セーフティーネット会議権利擁護部会を開催しました。また「成年後見制度に関する法改正」をテーマとした成年後見制度利用促進セミナーを開催し、多数の関係者の方とともに学びを深めることができました。

◆令和 7 年度成年後見制度利用促進セミナーの開催

事業名等	内 容
令和 7 年度成年後見制度利用促進セミナー	●日 時 令和 8 年 3 月 11 日（水） 13:30～16:00 会 場 松江市総合福祉センター 4 階 大ホール 参加者 講演会：194 名 内 容 第 1 部 基調講演「成年後見制度の見直しがめざすもの」 講師：早稲田大学法学学術院 教授 山野目 章夫 氏 第 2 部 実践報告「権利擁護支援を地域に行き届かせる」 報告者：松江市権利擁護推進センター

6. 介護保険関係事業の推進

高齢者が介護を必要とする状態になっても、住み慣れた地域で人としての尊厳を保って生活できるよう、またできる限り在宅において自分の力で生活できるよう自立を支援するため、本会で運営する 4 つの介護センターにおいて、利用者ニーズを反映できるサービスが提供できるよう、介護や予防援助を必要とする高齢者の在宅生活を支援しました。

6-(1) 松江社協介護センターの経営

【総務課：松北事業所】

①訪問介護事業及び総合事業

訪問介護事業者及び総合事業事業者として松江社協介護センターにおいて、訪問介護員（ホームヘルパー）4 名（嘱託 2 名、パート 2 名）体制により、身体上または精神上の障がいのある方に対して、訪問介護員が自宅を訪問し、入浴・排泄・食事等の身体介護、調理・洗濯・掃除等の生活援助、生活等に関する相談・助言、その他必要な日常生活上の世話などの訪問介護サービスを提供、援助しました。

なお、令和 7 年度末に嘱託職員 1 名およびパート職員 1 名が退職したことにより、次年度からは職員体制が整わず、配置基準が満たせない状況となるため、残る職員および担当ケースを美保関介護センターへ統合し、松江社協訪問介護事業は令和 8 年 3 月末日をもって事業廃止としました。

◆松江社協訪問介護体制

年度	サービス提供責任者	常勤ヘルパー	パートヘルパー
R7 年度	1 名	1 名	2 名
R6 年度	1 名	1 名	2 名
R5 年度	2 名	1 名	4 名

◆松江社協訪問介護及び総合事業派遣実績 (人)

年度	総合	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	計
R7 年度	92	54	37	58	32	20	7	4	304
R6 年度	29	18	47	71	14	46	18	0	243
R5 年度	78	42	133	120	61	48	23	0	505

6-(2) 美保関介護センターの経営

【総務課：松東事業所】

①居宅介護支援事業

居宅介護支援事業者として美保関介護センターにおいて主治医、地域包括支援センター、サービス提供事業所と連絡を取りながら、利用者の立場に立ったケアプラン作成に努めました。

なお、令和 7 年度末に配置職員 2 名がともに退職したことにより、次年度からは職員体制が整わず配置基準が満たせない状況となるため、他法人への担当ケース引継ぎの調整をすすめ、美保関居宅介護支援事業は令和 8 年 3 月末日をもって事業廃止としました。なお営業はケースの引継ぎが早期に完了したことにより令和 8 年 2 月末日をもって終了しました。

◆美保関居宅介護支援事業所体制

年度	職員数
R7 年度	2 名
R6 年度	2 名
R5 年度	2 名

◆美保関介護支援事業ケアプラン作成数

年 度	作成 人数	総 合	要 支 援		要 介 護					認 定 待 ち	相 談 延 人 数	訪 問 延 人 数
			1	2	1	2	3	4	5			
R7 年度	447	0	66	116	154	66	32	11	2	0	1,964	679
R6 年度	751	0	113	166	209	140	80	41	2	1	2,483	935
R5 年度	814	20	95	194	305	111	50	37	2	0	3,437	1,011

②訪問介護事業及び総合事業

訪問介護事業者及び総合事業者として美保関介護センターにおいて、八束町、美保関町を対象に訪問介護員(ホームヘルパー)7名(嘱託2名、パート5名)体制により、身体上または精神上の障がいのある方に対して、訪問介護員が自宅を訪問し、入浴・排泄・食事等の身体介護、調理・洗濯・掃除等の生活援助、生活等に関する相談・助言、その他必要な日常生活上の世話などの訪問介護サービスを提供、援助しました。

◆美保関訪問介護及び総合事業体制

年度	サービス提供責任者	常勤ヘルパー	パートヘルパー
R7年度	2名	0名	5名
R6年度	2名	0名	5名
R5年度	2名	1名	6名

◆美保関訪問介護及び総合事業派遣実績 (人)

年度	総合	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
R7年度	16	116	186	131	65	8	38	12	572
R6年度	12	113	113	131	85	17	15	24	510
R5年度	15	130	144	188	105	6	24	20	632

6-(3) 松南介護センターの経営

【総務課：松南事業所】

①居宅介護支援事業

居宅介護支援事業者として松南介護センターにおいて主治医、地域包括支援センター、サービス提供事業所と連絡を取りながら、利用者の立場に立ったケアプランを作成しました。(要支援者に対するケアプラン作成については地域包括支援センターより受託)

◆松南居宅介護支援事業所体制

年度	職員数
R7年度	2名
R6年度	2名
R5年度	2名

◆松南介護支援事業ケアプラン作成数 (人)

年 度	作成 人数	総合 事業	要 支 援		要 介 護					認定 待ち	相談 延人数	訪問 延人数
			1	2	1	2	3	4	5			
R7年度	818	57	54	149	176	220	60	65	37	2	5,995	1,447
R6年度	853	72	52	145	290	186	38	47	23	1	5,278	1,403

R5 年度	801	68	79	184	254	131	26	35	24	0	5,217	1,496
-------	-----	----	----	-----	-----	-----	----	----	----	---	-------	-------

6-(4) 宍道介護センターの経営

【総務課：湖南事業所】

①居宅介護支援事業

宍道居宅介護支援事業者として主治医、地域包括支援センター、サービス提供事業所と連絡を取りながら、利用者の立場に立ったケアプランを作成しました。（要支援者に対するケアプラン作成については地域包括支援センターより受託）

◆宍道居宅介護支援事業所体制

年度	職員数
R7 年度	2 名
R6 年度	2 名
R5 年度	2 名

◆宍道介護支援事業ケアプラン作成数

(人)

年 度	作 成 人 数	総 合 事 業	要 支 援		要 介 護					認 定 待 ち	相 談 延 人 数	訪 問 延 人 数
			1	2	1	2	3	4	5			
R7 年度	756	56	47	95	237	160	83	51	27	0	2,554	1,103
R6 年度	574	41	37	69	138	183	57	12	37	0	1,746	713
R5 年度	707	76	38	71	228	185	55	23	31	0	1,372	954

※令和 6 年 4 月～8 月まで 1 名体制、9 月から 2 名体制)

②訪問介護事業及び総合事業

宍道介護センターでは、訪問介護事業者及び介護予防訪問介護事業者として、訪問介護員（ホームヘルパー）6 名（嘱託 1 名、常勤 1 名、パート 4 名）体制により、身体上または精神上的の障がいのある方に対して、訪問介護員が自宅を訪問し、入浴・排泄・食事等の身体介護、調理・洗濯・掃除等の生活援助、生活等に関する相談・助言、その他必要な日常生活上の世話などの訪問介護サービスを提供、援助しました。

◆宍道訪問介護体制

年度	サービス提供責任者	常勤ヘルパー	パートヘルパー
R7 年度	1 名	1 名	4 名
R6 年度	1 名	1 名	4 名
R5 年度	1 名	1 名	6 名

◆宍道訪問介護及び総合事業派遣実績

(人)

年度	総合	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	計
R7 年度	76	24	87	70	17	14	44	14	346
R6 年度	26	42	75	52	40	15	21	20	291
R5 年度	18	134	144	44	15	40	7	0	402

6-(5) 介護センターの研修等の推進

【総務課】

①介護支援専門員資質向上事業(ケアマネ更新研修等)

介護支援専門員の資質の確保・向上を図るために、介護支援専門員証の更新制度（5 年更新）が設けられており、松江市社協内の介護支援専門員資格者が下記の介護支援専門員研修に参加しました。

◆ケアマネ更新研修等参加状況

年度	専門Ⅰ	専門Ⅱ	主任	主任更新	更新	計
R7 年度	1	4	1	4	5	15
R6 年度	2	2	2	1	1	8
R5 年度	2	6	2	2	4	16

②訪問介護員内部研修

日頃研修機会の少ない訪問介護員の資質向上を図るため、以下の研修に参加しました。

事業名等	内 容
訪問介護員研修	●日 時 令和 7 年 10 月 28 日（火） 会 場 松江市総合福祉センター 2 階 身障者研修室 参加者 12 名 内 容 感染症予防、食中毒予防 （DVD 視聴）

③介護センター内部合同研修

居宅介護支援事業、訪問介護事業の職員が以下の研修に参加しました。

事業名等	内 容
合同研修	●日 時 令和 8 年 1 月 23 日（金） 会 場 松江市総合福祉センター 1 階 会議室 参加者 居宅介護支援事業 4 名 訪問介護事業 3 名 合計 7 名 内 容 BCP 訓練 ●日 時 令和 8 年 3 月 19 日（木）

事業名等	内 容
	会 場 松江市総合福祉センター 2階 視聴覚室 参加者 居宅介護支援事業 4名 訪問介護事業 3名 合計 7名 内 容 感染症予防・まん延防止研修・訓練

6-(6) 介護認定訪問調査事業の受託

【総務課】

島根県より事務受託法人として指定を受け、介護保険法に基づく要介護認定のための新規・更新・変更申請者に対する訪問調査事業を松江市より受託し、介護支援専門員の資格を持つ職員が要介護者宅や施設を訪問し認定に必要な項目の聞き取り調査を行いました。

新規・変更は概ね予測通り、更新に関しては予測の 8 割程度の申請でした。

◆介護認定訪問調査事業体制

年度	正規	嘱託	パート
R7 年度	2 名	18 名	3 名
R6 年度	2 名	18 名	2 名
R5 年度	2 名	18 名	4 名

◆調査件数

(件)

年度	在宅	施設	合計
R7 年度	5,814	4,665	10,479
R6 年度	5,055	4,128	9,183
R5 年度	6,533	4,795	11,328

ア) 介護認定調査員の資質の向上

認定調査員調査内容の精度を上げるなど資質の向上を目的に、下記の研修を行いました。

◆調査員研修

事業名等	内 容
【松江市主催】 認定調査員研修	●日 時 令和 7 年 10 月 29 日(水) 14:00～16:00 内 容 ①講義：『認知症の基礎知識』 講師：松江市立病院 認知症介護認定看護師 細田 理恵 氏 協力：高倉係長、原保健師、熱田さん、舟木さん ②調査項目 3-4 短期記憶 3 品確認の実施について 認定係 原保健師 参加者 18 名
【社協内部】 認定調査員研修	●日 時 令和 7 年 4 月 11 日(金) 14:00～16:00 内 容 ・苦情・事故・ヒヤリハットの予防について

事業名等	内 容
	・ 認定係との項目目合わせ結果の報告 ・ 認定調査員の基本的態度や心構えの振り返り 担 当 寺本 参加者 23 名

イ) 他市町村からの介護認定訪問調査の受託

松江市に在住する被保険者で、保険者が松江市外の方について(住所地特例など)は市内居宅介護支援事業所が訪問調査業務を受けない現状があり、他市町村から調査を受託し、調査員が要介護者宅や施設を訪問し認定に必要な項目の聞き取り調査を行いました。

◆他市町村から調査を受託件数

年度	件数
R7 年度	22
R6 年度	35
R5 年度	20

7. 障害者総合支援法等障がい者関連事業の推進

障害者総合支援法に基づき、障がいのある方の自己決定を尊重し、自立した生活を営むことができるよう、本会で運営する 3 つの介護センターで居宅介護サービスを提供し、在宅生活での支援を行いました。

また、2 つの介護センターにおいて視覚障がい者の外出援助として同行援護サービスを実施し 1 つの介護センターにおいてその他の障がいがある方の移動支援サービスを実施しました。

7-(1) 障がい者居宅介護事業、同行援護事業及び移動支援事業

①松江社協障がい者居宅介護事業及び同行援護事業

【総務課：松北事業所】

ア) 障害者自立支援法に基づき障がい者への居宅介護を取り扱う居宅介護事業所の指定を受け障がい者の日常生活の利便性向上と地域社会との交流、社会参加の促進を図りました。

◆業務実績

年 度	派遣 回数	実 利用 者数	実 働 ヘル パー 数	サービス提供 時間	平均利用時間
R7 年度	559 回	4 人	4 名	457 時間 00 分	49 分
R6 年度	534 回	3 人	4 名	448 時間 30 分	50 分

R5 年度	649 回	3 人	6 名	539 時間 30 分	50 分
-------	-------	-----	-----	-------------	------

イ) 障害者自立支援法に基づき視覚障がい者への同行援護を取り扱う同行援護事業所の指定を受け、重度視覚障がい者の外出支援を行い地域社会との交流、社会参加の促進を図りました。

◆業務実績

年 度	派遣 回数	実 利用 者 数	実 働 ヘル パー 数	サービス提供 時間	平均利用時間
R7 年度	96 回	5 人	3 名	206 時間 30 分	2 時間 15 分
R6 年度	28 回	5 人	3 名	83 時間 40 分	3 時間 0 分
R5 年度	10 回	2 人	6 名	33 時間 30 分	3 時間 21 分

なお、訪問介護事業の廃止にあわせ松江社協障がい者居宅介護事業・同行援護事業は令和 8 年 3 月末日をもって事業廃止としました。

②美保関障がい者居宅介護事業及び同行援護事業

【総務課：松東事業所】

ア) 障害者自立支援法に基づき障がい者への居宅介護を取り扱う居宅介護事業所の指定を受け、障がい者の日常生活の利便性向上と地域社会との交流、社会参加の促進を図りました。

◆契約実績

年 度	派遣 回数	実 利用 者 数	実 働 ヘル パー 数	サービス提供 時間	平均利用時間
R7 年度	1,420 回	10 人	7 名	1,002 時間 00 分	42 分
R6 年度	880 回	11 人	7 名	732 時間 00 分	50 分
R5 年度	734 回	9 人	8 名	680 時間 00 分	55 分

イ) 障害者自立支援法に基づき視覚障がい者への同行援護を取り扱う同行援護事業所の指定を受け、重度視覚障がい者の外出支援を行い地域社会との交流、社会参加の促進を図りました。またその他の障がい者の外出支援について松江市地域生活支援事業の事業所指定を受け移動支援事業を行いました。

◆業務実績

年 度	派遣 回数	実 利用 者 数	実 働 ヘル パー 数	サービス提供 時間	平均利用時間
R7 年度	30 回	2 人	7 名	67 時間 00 分	2 時間 14 分

R6 年度	34 回	1 人	7 名	49 時間 30 分	1 時間 30 分
R5 年度	35 回	1 人	8 名	50 時間 00 分	1 時間 25 分

③突道障がい者居宅介護事業

【総務課：湖南事業所】

ア) 障害者自立支援法に基づき障がい者への居宅介護を取り扱う居宅介護事業所の指定を受け、障がい者の日常生活の利便性向上と地域社会との交流、社会参加の促進を図りました。

◆契約実績

年 度	派遣回数	実利用者数	ヘルパー 実働 数	サービス提供 時間	平均利用時間
R7 年度	433 回	5 人	6 人	421 時間 30 分	58 分
R6 年度	413 回	4 人	6 人	330 時間 51 分	48 分
R5 年度	489 回	5 人	6 人	444 時間 45 分	54 分

8. 児童福祉サービスの推進

8-1) 児童センター等の受託運営

【総務課：松南事業所】

①八雲児童センター運営事業

こどもに対する遊び場の提供や遊び・指導を通じた健全育成を図るとともに、子育て中の母親等が情報交換できる場や、くつろぎの場を提供し、育児相談などの子育て支援機能を柱として、児童センター「どんぐり館」の運営を、市からの指定管理者として行いました。

◆利用実績

(延べ人数)

年度	0～6 歳	小学生	中高生	大人	合計
R7 年度	1,020 人	752 人	11 人	2,381 人	4,164 人
R6 年度	1,616 人	879 人	20 人	2,708 人	5,223 人
R5 年度	1,166 人	591 人	9 人	2,813 人	4,579 人

ファミリーサークル等、公民館が実施主体となる事業の会場が公民館へ変更されたことなどの影響により、利用者数は減少しました。あわせて行事については、児童センターとして実施する事業、貸館事業、ならびに他団体が実施する人的支援について会計面も含め整理を行い、年間計画に基づき実施しました。

②八雲児童センター行事

事業名等	内 容
絵本とあそぼう会	●内 容 絵本に親しむ場の提供、ボランティアによる絵本の読み聞かせ 回 数 4 回 参加者 乳幼児親子、幼保園園児、児童クラブ利用児童、地域活動支援センター通所者 延べ 133 人
赤ちゃんとお母さんのリフレッシュタイム	●内 容 リトミック遊び・わらリズム等による親子活動 回 数 4 回 参加者 乳児親子 延べ 60 人
星キラタイム	●内 容 育児中の親のリフレッシュを目的とした趣味活動 回 数 6 回 参加者 乳幼児親子 延べ 63 人
小学生のお楽しみ会	●内 容 春・夏の長期休みに小学生を対象としたお楽しみ会 回 数 2 回 参加者 八雲小児童、町内 3 児童クラブ利用児童 延べ 162 人
コンサート	●内 容 クリスマスコンサートなど地域住民にも開放した地域交流活動 回 数 3 回 参加者 乳幼児親子、地域住民、児童クラブ利用児童、地域活動支援センター通所者 延べ 155 人
地域交流ミニデイ	●内 容 地域で実施される 3 カ所のなごやか寄合事業に児童センターを利用されている親子と出向く交流活動 回 数 3 回 参加者 八雲小児童、児童クラブ利用児童 延べ 68 人
体験ワークショップ	●内 容 型染め遊び、木のおもちゃ遊びなどの体験活動 回 数 3 回 参加者 乳幼児親子、地域住民 延べ 88 人

8-(2) こども食堂の取り組み

【地域福祉課】

こどもや貧困世帯に限らず、誰もが「食」を通じて交流することができるこども食堂は地域の居場所として松江市でも広がっております。

松江市社協が把握するこども食堂は、令和 3 年度末時点では 4 か所でしたが、令和 4 年度末時点で 13 か所まで増加し、令和 5 年度末時点では 19 か所となり、令和 6 年度末には 26 か所、そして令和 7 年度末には 33 か所となりました。

各地区の CSW がこども食堂の立ち上げや運営支援を行うことと並行して、全市的なこども食

堂の支援として企業等への働きかけにも力を入れて取り組みました。

企業等から寄贈いただいた食品や物品は、市内こども食堂代表者へメール配信を行うなど、間接的な運営支援も行っております。

また、令和 7 年度はこども食堂運営者同士の横のつながりを作るべく、「松江市こども食堂交流会」を開催しました。18 団体 33 名もの運営者が一堂に会し、お互いの活動についての情報交換や運営するうえでの悩みなどを共有するグループワークを行いました。参加者からは「こども食堂の運営者はどこも活気があり、交流会を通じて知り合いになれたことがうれしい。」「ぜひ次年度も継続して開催してほしい。」といった感想をいただきました。

9. 福祉施設等管理運営事業の受託

9-(1) 松江市総合福祉センター管理運営事業

【総務課】

市の指定管理者として施設の管理運営を行い、市民の福祉活動の拠点として広くご利用いただきました。

施設設備の老朽化が進行していることから、令和 7 年度は松江市の直接執行により屋上防水修繕工事が実施されました。あわせて、当該工事の支障となっていた 5 階陶芸小屋および陶芸窯の撤去を行い、小屋内に長年蓄積されていた不用品についても廃棄処分を実施しました。このほか、全館照明の LED 化への切り替えや、利用者アンケートの実施など、施設環境およびサービス向上に努めました。

新型コロナウイルス感染症の影響による行事等の自粛が解消されたことを主な要因として、令和 6 年度から利用者数は回復傾向にあり、令和 7 年度においては、開館日数、利用件数、利用者数ともに概ね例年並みとなりました。

◆開館実績：令和 7 年度 356 日 9:00～21:00（日曜 9:00～17:00、祝日 9:00～18:00）

年度	施設利用人員
R 7 年度	28,495 人
R 6 年度	29,765 人
R 5 年度	25,748 人

9-(2) 宍道屋内ゲートボール場管理運営事業

【総務課・湖南事業所】

屋内ゲートボール場「すぱーく宍道」は、地域の皆様の交流の場、生涯スポーツの拠点として、ゲートボールの練習や大会はもとより福祉施設のお祭りや運動会、野球のトレーニングなど若者から高齢者まで市内外の方々の利用がありました。

建物管理として、消防用設備の不良個所（自動火災報知設備、誘導灯等）の修繕、取替を行いました。

◆利用実績

年度	利用件数	時間数	利用人員（延べ）
R7年度	137件	553時間	2,680人
R6年度	132件	533時間	2,791人
R5年度	137件	512時間	2,628人

10. 「地域共生社会の実現に向けた」地域づくり推進

10-(1) 重層的支援体制整備事業

【地域福祉課】

令和3年度から国の新たな事業として、重層的支援体制整備事業が始まりました。

各包括エリアにおいて、CSWと地域包括支援センター相談員がチームとしての連携を強化し、社協内各課の横断的な協働支援、さらに公民館、地区社協、社会福祉法人・企業・NPO法人等とともに、「相談支援」「アウトリーチ支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」を一体的に展開し、誰も取りこぼすことのないつながりのある包括的支援体制の構築に向け取り組みました。

①多機関協働事業

①-1 相談支援事業（相談の受けとめ）

ア）ふくしなんでも相談所の相談対応

市民の皆様の身近なご相談（悩みごと）をお受けし総合的にサポートするとともに、周知活動を行いました。

◆周知活動

○ふくしなんでも相談所ちらし、カード：市内薬局、民協、地区社協、公民館他に配布

◆相談件数

年度	R7年度	R6年度	R5年度	R4年度
相談件数	241件	277件	280件	291件

◆相談内容

内容	介護	家庭	体心	住まい	経済	孤立	子育て	就労	権利	近隣	地域	他	計
R7	49	24	47	34	37	31	9	23	6	12	20	53	345
%	14	7	14	10	11	9	3	7	2	3	6	15	100

イ）福祉総合相談システム（相談管理システムゆめと）の活用

システムを導入し、受けた相談の一元管理を行いました。

ウ）ふくしなんでも相談所窓口の拡充

松江市社会福祉法人連絡会に参加している9つの社会福祉法人が各事業所に20か所の

「ふくしなんでも相談窓口」を、市内の薬局 13 か所が「ふくしなんでも相談所連携薬局」を令和 4 年 4 月から設置しました。担当分野にとらわれない福祉の相談を受け付け、各専門機関やふくしなんでも相談所につなぎました。(令和 7 年 1 月以降相談連携薬局 10 か所)

年度	R7 年度
社会福祉法人受付件数	6 件
連携薬局受付件数	1 件

エ) 民間企業との連携

ふくしなんでも相談所の出張版として、イオンリテール株式会社との連携によりイオン松江ショッピングセンターを会場に「ふくしなんでも相談所 in イオン松江」を第 3 火曜日に 11 回開催し、9 件の相談を受け付けました。

オ) 社協内相談機関連絡会議

毎月第 4 水曜日に事務局長、各課長、各係長が参加し、ふくしなんでも相談や、社協内の各相談機関での相談内容や支援状況を把握し、課題解決に向けた進捗管理を行いました。

カ) 対策会議の開催

社協としてケースにどう関わり、どう支援を組み立てていくのかを検討する対策会議を開催しました。例えば、複合的な課題を抱え、各課を超え検討が必要なケースや既存のサービスや制度では解決できないケースなどについて検討しました。

(開催回数 18 回 検討ケース実数 18 件)

キ) スキルアップ研修の開催

社協職員全員がふくしなんでも相談所の相談員として、総合相談機能の強化を図るため、社協職員として、総合相談に必要な知識を学び、スキルアップを図りました。またふくしなんでも相談所を実施する社会福祉法人の職員にも受講をしていただきました。

7 月 25 日	72 人	ひきこもりの方への支援	島根県心と体の相談センター (島根県ひきこもり支援センター) 相談判定課 坂本育美 氏 みんなの居場所『ぼちぼち』 ピア スタッフ 足立祐輔 氏
12 月 12 日	50 人	メンタルヘルス ストレス解消のコツ	独立行政法人労働者安全保健機構 島根産業保健総合支援センターメ ンタルヘルス対策・両立支援促進員 村上優子 氏
2 月 20 日	45 人	社会福祉協議会の歴史、社協職 員として	松江市社会福祉協議会 事務局長 諏訪方宣 氏

①-2 重層的支援会議・支援会議の運営

ア) 重層的支援会議・支援会議の開催

学識経験者、弁護士、臨床心理士を助言者として、会議を開催しました。8050世帯の対応、ごみ屋敷問題、ひきこもりの参加支援へのつなぎなど継続事例の評価や支援の協議を行いました。支援会議を活用することで本人同意を得ることは難しい事例について検討することができました。また、令和7年度より従来型の重層的支援会議だけでなく、実務者レベルでの重層的支援会議を開催することでリアルタイムな支援会議を開催することができました。

◆重層的支援会議等

開催日	重層的支援会議	支援会議
令和7年4月24日	0件	1件（評価）
令和7年8月20日	2件	2件（評価・報告）
令和8年1月26日	2件	1件（報告）

※支援会議とは：個人情報同意が得られないケースについて、社会福祉法106条6に基づき、会議構成員に守秘義務を設け、支援を検討する会議をいいます。

①-3 セーフティネット会議（各部会の活動）

地域共生社会の実現をめざして、高齢者だけでなく、障がいのある方や子どもなどへの支援や地域住民が抱える多様で複合的な課題にも対応する包括的な支援体制の構築が求められています。地域全ての市民が住み慣れた地域で安心して生活ができる社会の実現に向け、生活課題の解決に関係機関が連携し包括的に対応するため、部会を設置して開催しました。

事業名等	内容
セーフティネット会議 第1回	●日時 令和7年10月16日（木） 内容 ふくしなんでも相談所相談実績等 重層的支援会議・支援会議開催状況 権利擁護部会・生活困窮部会からの報告 事例報告
セーフティネット会議 第2回	●日時 令和8年3月19日（木） 内容 ふくしなんでも相談所相談実績等 重層的支援会議・支援会議開催状況 権利擁護部会・生活困窮部会からの報告 事例報告 グループワーク（個人情報保護について意見交換）
セーフティネット会議 生活困窮部	●日時 令和7年8月6日（水） 内容 令和6年度事業報告及び令和7年度事業計画

事業名等	内容
会 第 1 回	講演 松江保護観察所の役割・支援状況、関係機関との連携 講師：統括保護観察官 三原鉄志 氏 他 2 名
セーフティネット 会議 生活困窮部 会 第 2 回	●日 時 令和 8 年 2 月 20 日（金） 内 容 令和 7 年度事業中間報告 貸付業務との連携事業について（報告） 「コロナ特例貸付借受人（世帯）への訪問活動」
セーフティネット 会議 権利擁護部 会 第 1 回	●日 時 令和 7 年 7 月 15 日（火） 内 容 令和 6 年度実績報告及び令和 7 年度事業計画・進捗事業
セーフティネット 会議 権利擁護部 会 第 2 回	●日 時 令和 8 年 3 月 11 日（水） 内 容 令和 7 年度成年後見制度利用促進セミナーと同時開催 講演 成年後見制度の見直しがめざすもの 講師：早稲田大学法学学術院 教授 山野目 章夫 氏 実践報告

①-4 地域共生フォーラムの開催（大雪のため令和 8 年度に延期）

地域の誰もが安心して共に暮らせる地域の実現を目指し、講演や実践事例発表を通して学びを深めることを目的にフォーラムを企画しました。

地域共生フォーラム	●日 時 令和 8 年 2 月 8 日（日） 13:30～16:00 内 容 基調講演「なぜ人と人は支え合うのか～共生社会から考える～」 講師：ノンフィクションライター 渡辺一史氏 事例報告：①朝日地区「まちなかプラン」の取り組み ②古江地区「あったかスクラム」の取り組み
-----------	--

②アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

長期にわたりひきこもりの状態にあるなど、複雑化・複合化した支援ニーズをかかえながらも必要な支援が届いていない人や、支援につながることに拒否的な人の相談が入るよう、民生児童委員、地区社会福祉協議会、福祉推進員、居宅介護支援事業所等関係機関への事業周知を行いました。相談を受け付けた後は、本人と関わるためのきっかけや切り口の検討、本人に会う前の事前調整を行い、関係構築に向けた継続的な働きかけを行いました。（アウトリーチ相談員対応実件数：3 件（プラン）、その他アウトリーチ新規 13 件、継続 41 件）

また、令和 6 年度より、松北地域包括支援センターエリアと協働し、「新たな居場所づくり」よ

うこそ、ござっしやい☆ふらっと☆」を立ち上げ、ひきこもりの家族や支援者の情報交換や交流の場となりました。

ひきこもりの基礎理解や支援の基本的な考え方を学ぶとともに、当事者の思いや立場に寄り添った関係構築のきっかけづくりを目指し、鳥取県立精神保健福祉センター所長 原田豊氏を講師に招き、「ひきこもり支援者向け研修会」を開催しました。

③参加支援事業

既存の社会参加に向けた事業では対応できない狭間の個別ニーズに対応するため、本人のニーズ・希望と地域の資源との間の調整を行いながら支援しました。

ひきこもりの方や就労の意欲があってもうまくいかない方が社会に踏み出す一歩として、協力団体への要請、個々のニーズに合わせたプラン作成に取り組みました。重層的支援会議・支援会議に諮った支援プランは3件でしたが、CSW や担当職員が地域の社会資源等につなげるなどの支援を行いました。

松江市社会福祉法人連絡会や企業ボランティア松江ネットワーク会議の加盟法人や事業所の協力を得て、職場体験事業を3件実施しました。

実施時期	体験内容	協力機関
9月	個人農園での草刈りや収穫作業	コミュニティソーシャルワーカー
5月	特別養護老人ホームでの環境整備	松江市社会福祉法人連絡会
11月	いちご農家でのハウス整備作業	企業ボランティア松江ネットワーク会議

④地域づくりに向けた支援（すこやかライフ推進事業）

「2・(2)④地区社会福祉協議会活動支援事業（すこやかライフ推進事業）」をご覧ください。

11. 災害支援

11-1) 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練

災害発生時に速やかに災害ボランティアセンターを立ち上げ、被災者本位の支援活動を実施できるよう、運営スタッフのスキルおよび経験値の向上、並びに協力団体や地域との連携強化を目的として、県社協の協力のもと立ち上げ訓練を実施しました。

近年は、災害ボランティアセンターの運営業務を円滑に進めるため、ICT（kintone）の活用が求められていることから、事前に内部研修を行い、当該訓練においても活用しました。

事業名等	内 容
災害ボランティア 運営基盤強化研修 kintone 伝達研修	●日 時 令和7年8月29日（金）16:00～17:00 会 場 松江市総合福祉センター 4階 大ホール及び教養室 参加者 松江市社協職員 第一部参加：36名、第二部参加：27名 内 容 【伝達研修】 《第一部》

災害ボランティア センター立ち上げ 訓練	○講義『社協が被災者支援を行う意味』（15 分） ・社協が求められる災害時のマネジメント ・社協が持つべき中間期的視点等 ○講義『災ボラにおける課題と IT 化の意味』（15 分） ・ICT 活用のメリット等③演習『実際に kintone を利用』（30 分） ・ニーズ受付の入力作業等 《第二部》 ○演習『実際に kintone を利用』（30 分） ・ニーズ受付の入力作業等 伝達研修メンバー 総務課 今村 佳徳 地域福祉課 広野 歩 生活支援課 福島 翔平 ●日 時 令和 8 年 2 月 13 日（金）10:00～15:30 会 場 松江市総合福祉センター 4 階 大ホール及び教養室 参加者 ライオンズクラブ、市内社会福祉法人、公民館、地区社協、 松江市職員、県社協職員、松江市社協職員 45 名 内 容 【講演・ワークショップ】 講演「災害ボランティアセンターにおける地域住民・他機関等との 協働について」 ワークショップ 「災害ボランティアセンターで直面する事例へ の対応を考える」 講師 日野ボランティア・ネットワーク代表 山下 弘彦 氏 【演習・まとめ】 「災害ボランティアセンター運営訓練（ロールプレイ）」 松江市全域で震度 6 強の地震が発生し、特に法吉地区、美保関地 区、鹿島地区において土砂崩れや道路の寸断等の被害が発生した との想定のもと、参加者全員が運営スタッフ、ボランティア、被 災者等の役割に分かれ、ロールプレイ形式による運営訓練を実施 した。訓練終了後は、各役割ごとに振り返りを行い、最後に山下 氏より総評をいただいた。
-------------------------------------	---

11-(2) 災害ボランティアセンター運営等に関わる研修

事業名等	内 容
運営基盤強化研修	●日 時 【第1回（基礎編）】令和7年5月27日(火) 【第2回（実践編）】令和7年6月18日(水) 会 場 くにびきメッセ 【第1回】小ホール、【第2回】多目的ホール 参加者 地域福祉課 広野 歩、生活支援課 福島 翔平、総務課 今村 佳徳 内 容 【第1回（基礎編）】 ○「kintone 基本機能の紹介／ICT を取り入れた災害 VC の1日」 講師 サイボウズ株式会社 UX リサーチャー 柴田 哲史 氏 【第2回（実践編）】 ○「社会福祉協議会が被災者支援を行う意味」 ○「災害 VC における課題と IT 化の意味」 講師 オフィス園崎代表 園崎 秀治 氏
運営マネジメント研修	●日 時 令和7年12月1日（月）～2日（火） 会 場 くにびきメッセ 小ホール 参加者 総務課長、総務課長補佐 内 容 【講義】 ○災害 VC 初動について、関連制度理解 ○社協の事業継続計画（BCP）等、平時の取組について ○受援の必要性和相互応援、関係機関との連携について 講師 オフィス園崎代表 園崎 秀治 氏 【実践報告】 ○災害 VC 運営支援アドバイザー制度 静岡県川根本町社会福祉協議会 専任職員 又平 大輔 氏 ○茨城県災害初動期対応チームについて 茨城県社会福祉協議会 福祉のまちづくり部長 中村 英一 氏

松江市社会福祉協議会 職員数

令和8年3月31日

所属		正規職員 専務含む	継続雇用 職員	嘱託 職員	臨時 職員	パート 職員	計
専務理事		1					1
常務理事 兼 事務局長		1					1
総務課	課長	1					1
	総務係	5		1		3	9
	経営企画係	2		2			4
	松北事業所（松江社協介護センター）			2		3	5
	松東事業所（美保関介護センター）		1	3		5	9
	松南事業所（松南介護センター）			2			2
	松南事業所（八雲児童センター）			2		3	5
	湖南事業所（宍道介護センター）			5	1	4	10
	介護認定調査	2	2	17		5	26
地域福祉課	課長	1					1
	地域福祉係 （ボランティアセンター兼務）	4		2			6
	地域福祉係（地域福祉 ST 駐在）	6		1			7
生活支援課	課長	1					1
	生活支援係	2		3			5
	くらし相談支援センター	5		4			9
	権利擁護支援係	2		5			7
	権利擁護推進センター	1	1	1			3
地域包括ケア推進課	課長	1					1
	地域包括ケア推進係	1	1	1			3
	地域包括支援センター	27	6	15	1		49
	在宅医療・介護連携支援センター	1		1	1		3
合計		64	11	67	3	23	168

以上の事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書はない。